

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

標記調査結果について、京都市の結果と経年での変容及び全国と比較した傾向等について以下のとおりまとめました。

記

【1 実技調査について】

- (1) 実施種目等は下表のとおり（※各種目に関わる体力・運動能力の要素も記載）。
なお実施時期は令和6年4月～7月。

種目		単位	主な体力・ 運動能力要素	測定	対象	
					小	中
1	握 力	kg	筋力	左右握力の平均値	○	○
2	上 体 起 こ し	回	筋パワー・ 筋持久力	30 秒間に上体を起こした回数	○	○
3	長 座 体 前 屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離	○	○
4	反 復 横 と び	点	敏捷性	20 秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数	○	○
5	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m 走行の折り返し回数	○	○ 選 択
	持久走※	秒	全身持久力・ 長距離走能力	男子 1500m 女子 1000m の走行時間	—	
6	5 0 m 走	秒	疾走能力	50m の疾走時間	○	○
7	立 ち 幅 と び	cm	筋パワー・ 跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離	○	○
8-1	ソフトボール投げ	m	巧緻性・ 投球能力	ソフトボールを遠投した距離	○	—
8-2	ハンドボール投げ	m		ハンドボール(中)を遠投した距離	—	○
※「○」…実施種目 「—」…実施しない種目						
※中学校の「持久走」は本市で選択する生徒が約2%と非常に少ないため分析の対象外としている						
体 力 合 計 点		点	8種目の体力テスト成績を1点から 10 点に得点化して総和した体力テスト合計得点			
総 合 評 価		5 段階	8種目の体力テストをすべて実施した場合、合計得点の良い方からABCDE の5段階で評定した体力の総合評価			

(2) 評価基準表

	A	B	C	D	E
小学校5年生	65 点以上	58～64 点	50～57 点	42～49 点	41 点以下
中学校2年生	57 点以上	47～56 点	37～46 点	27～36 点	26 点以下

※各実技テストの結果を 10 点満点で換算し、合計 80 点満点で上記基準表に基づきA～Eの評価を判定

【2 質問紙調査について】

1 週間の総運動時間、体格、生活習慣、運動やスポーツに対する意識 等

調査結果の概要

1 児童生徒の体力の状況

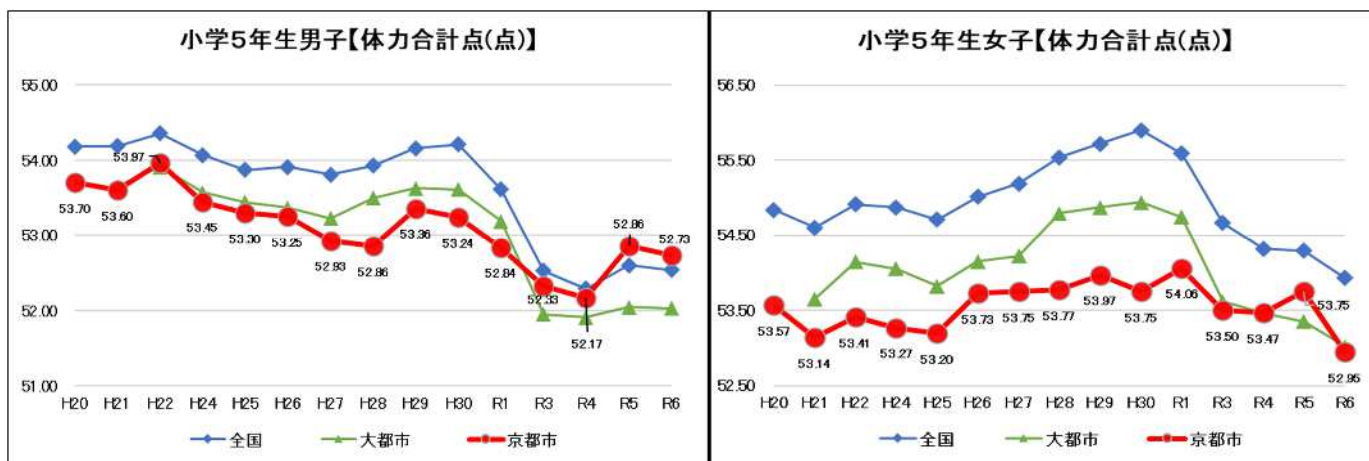
(1) 体力合計点の状況

体力合計点について、全国では、中学校男子ではコロナ前の水準に戻ったが、小学校男子及び中学校女子では前年度から横ばい、小学校女子は引き続き低下している。

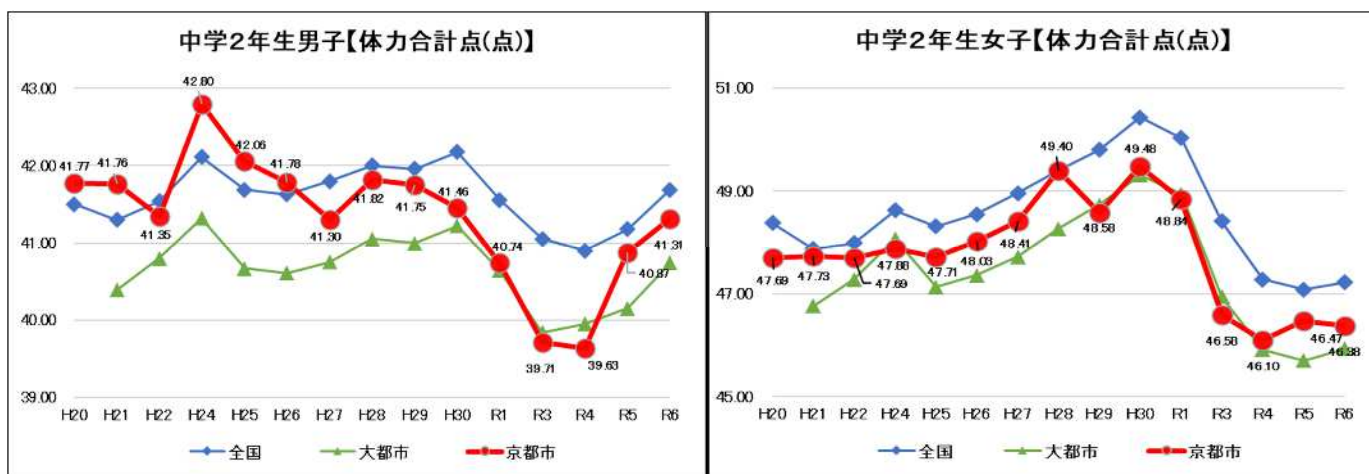
京都市の小学校では、コロナ禍を経て回復傾向となっていた令和5年度を男女とも下回っている。特に女子で大きく下降し、平成20年度以降最低値となった。なお、全国、大都市についても同様の傾向で、いずれも平成20年度以降最低値を記録している。

京都市の中学校では、男子が令和5年度を上回り、コロナ前の水準からさらに上昇傾向となっている一方、女子は、コロナ禍で大きく下がった令和3年度以降、横ばいが続いている。

【小学校】



【中学校】



【参考】

(1) 全国における本市順位

区分	小学校5年(男子)		小学校5年(女子)		中学校2年(男子)		中学校2年(女子)	
京都市	52.73 (-0.13p)	18位 (←21位)	52.95 (-0.80p)	42位 (←40位)	41.31 (+0.44p)	39位 (←39位)	46.38 (-0.09p)	42位 (←41位)
全国平均	52.54 (-0.06p)		53.93 (-0.36p)		41.69 (+0.51p)		47.22 (+0.14p)	
大都市平均	52.03 (-0.02p)	39位 (←40位)	53.02 (-0.33p)	42位 (←42位)	40.74 (+0.59p)	42位 (←43位)	45.93 (+0.23p)	45位 (←45位)
京都府	51.93 (-0.25p)	39位 (←37位)	52.62 (-0.71p)	43位 (←42位)	41.14 (+0.29p)	39位 (←39位)	47.00 (-0.11p)	36位 (←37位)

※()内は令和5年度との比較 ※全国＝公立・国立・私立学校すべて含む。 ※大都市＝政令指定都市＋東京23区

(2) 政令指定都市での順位

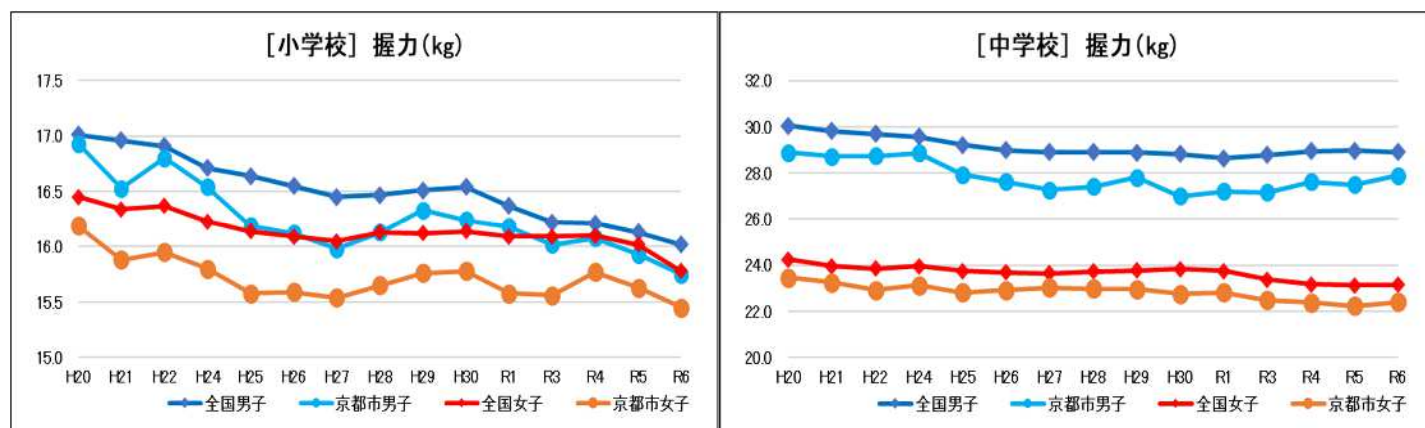
	小学校5年(男子)		小学校5年(女子)		中学校2年(男子)		中学校2年(女子)	
京都市	3位	(←5位)	10位	(←8位)	10位	(←9位)	10位	(←9位)

※()内は令和5年度の順位

(2) 各実技テスト種目の状況（全国との経年比較）

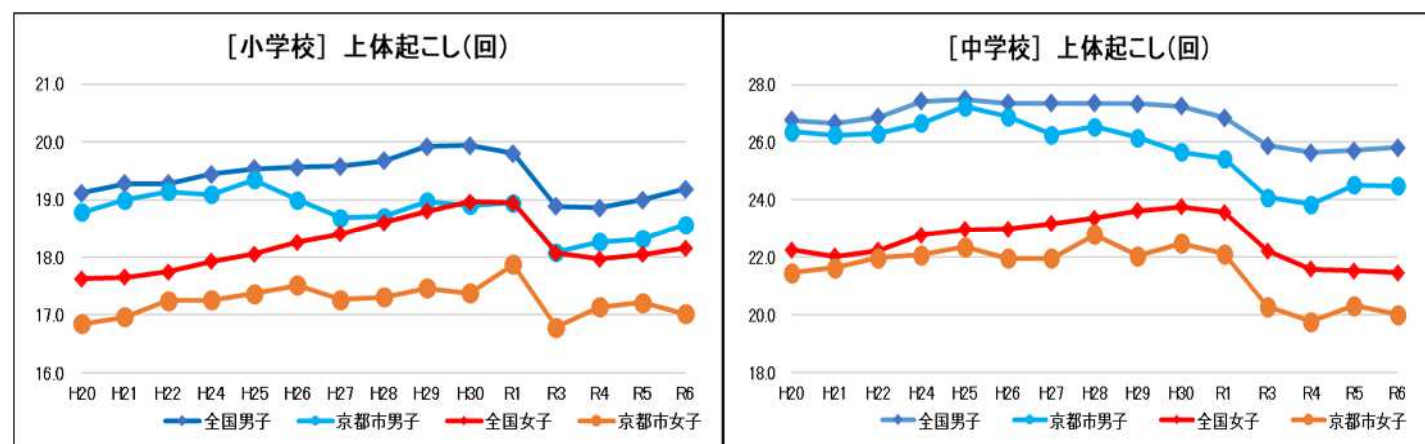
① 握 力

- ・全国・京都市ともに、小・中学校男女とも横ばいまたは緩やかな低下傾向が続いている。
- ・京都市の平均値は全国の平均値に比べてかなり低い状況が続いている。



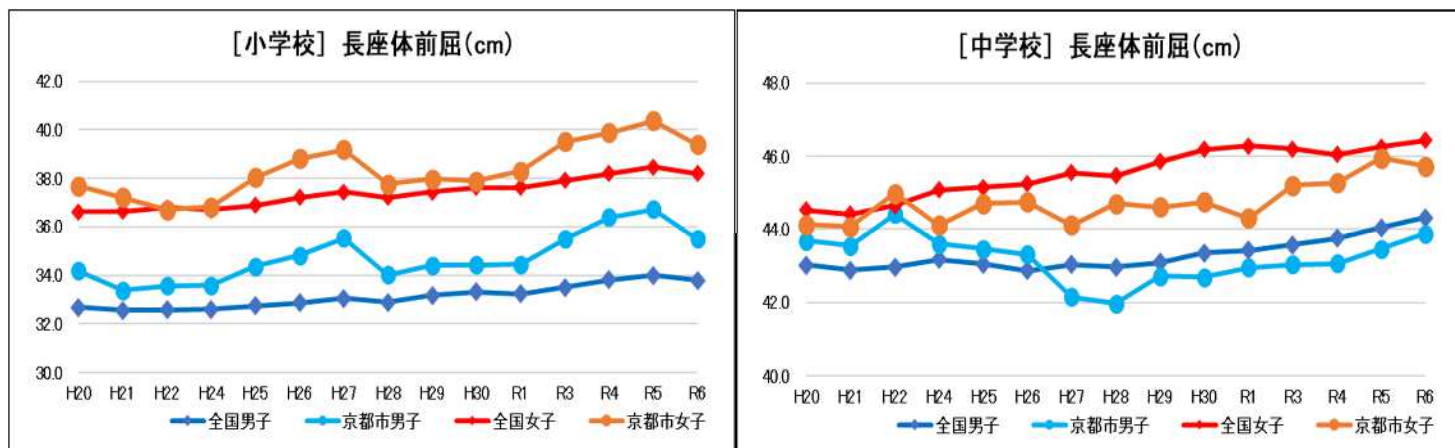
② 上体起こし

- ・全国では、小学校男女及び中学校男子で向上、中学校女子で横ばいとなっている。
- ・京都市は、小学校男子のみ向上し、中学校男子は横ばい。女子については、小中いずれも令和5年度から少し低下しており、男女とも全国平均値に比べると低い状況が続いている。



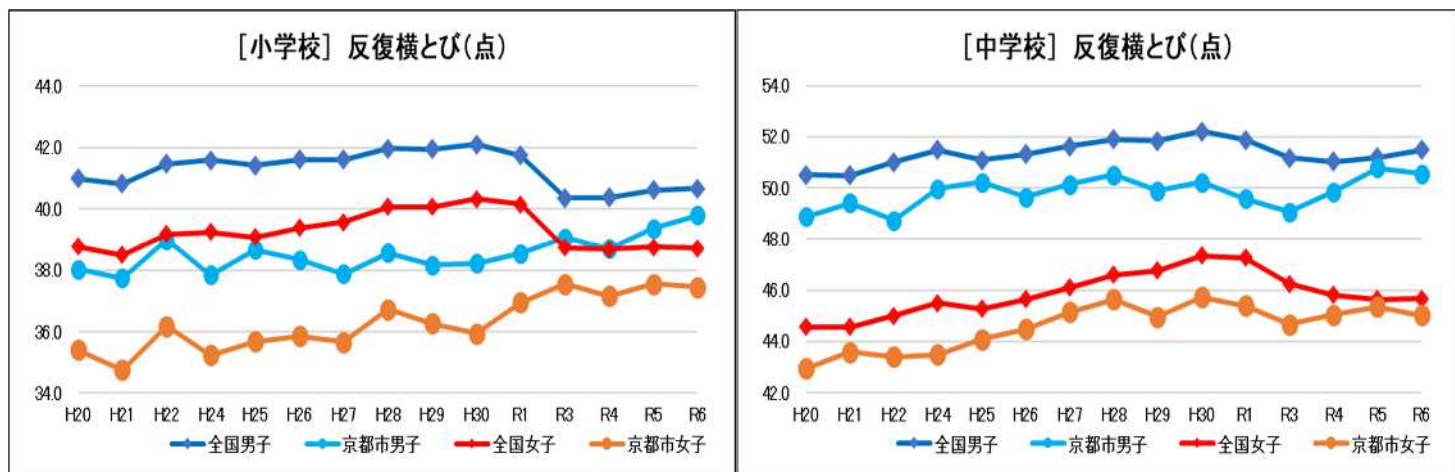
③ 長座体前屈

- ・全国では、小学校男女で低下、中学校男女で向上した。
- ・京都市は、小学校では全国と同様に前年度より低下、中学校は男子が向上、女子で少し低下。小学校では引き続き全国平均を上回っており、中学校では少し下回る状況となっている。



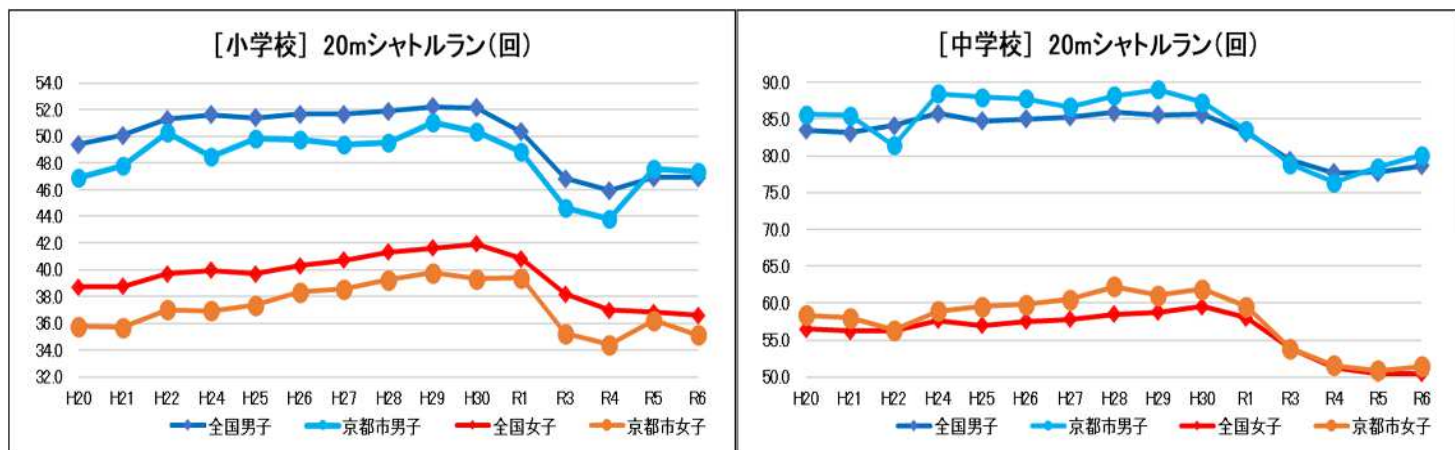
④ 反復横とび

- ・全国では小中学校男子で向上、小中学校女子は横ばいとなっている。
- ・京都市では小学校男子のみ向上し、全国平均に近づいてきている。小学校女子、中学校男女は少し低下したが、長期的には、小中学校男女とも緩やかな右肩上がりの傾向。



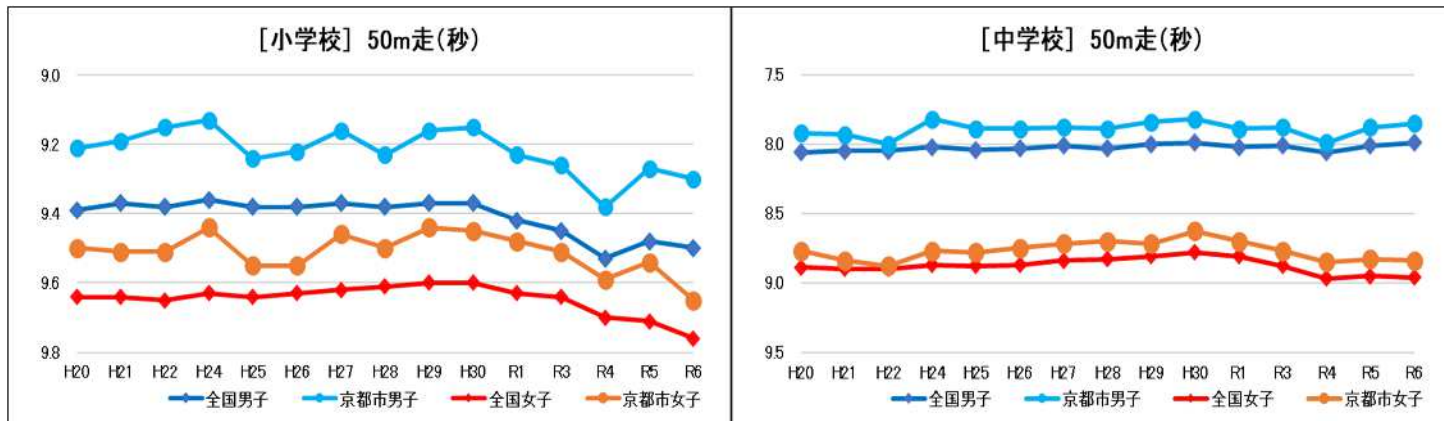
⑤ 20mシャトルラン

- ・全国では中学校男子が向上し、小学校男子及び中学校女子は横ばい、小学校女子は低下した。
- ・京都市では、小学校男女で低下、中学校男女は向上した。
- ・小学校男子、中学校男女で、全国平均値を少し上回っている。



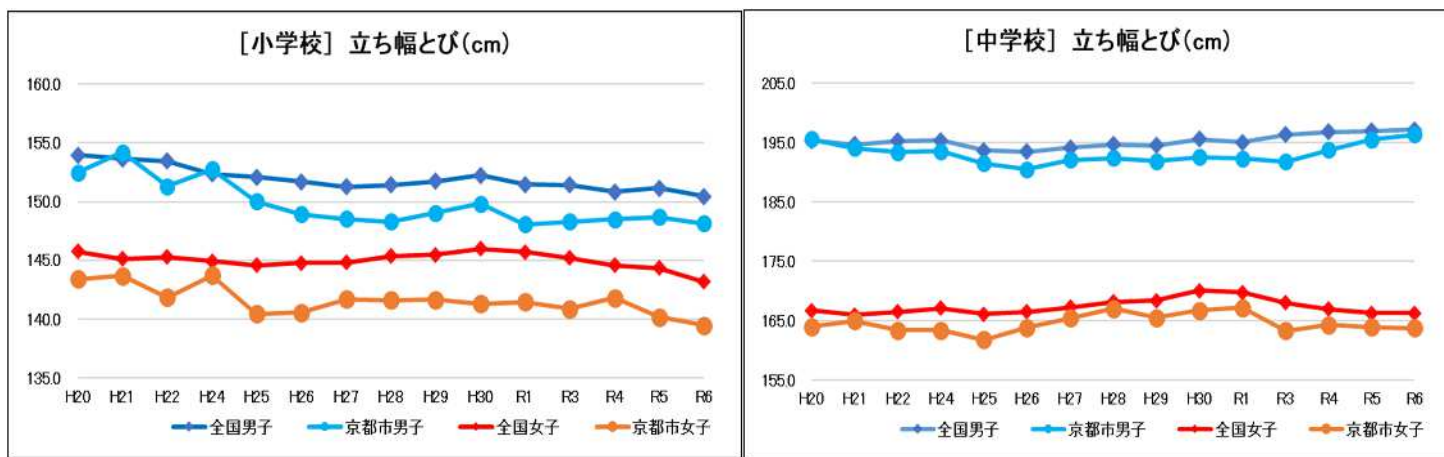
⑥ 50m走

- ・全国・京都市ともに、中学校男子のみ向上し、小学校男女及び中学校女子で低下した。
- ・京都市では、前年度からの比較では、特に小学校女子の低下が目立つ。全国平均との比較では、小中学校男女とも、トップクラスの水準を保っている。



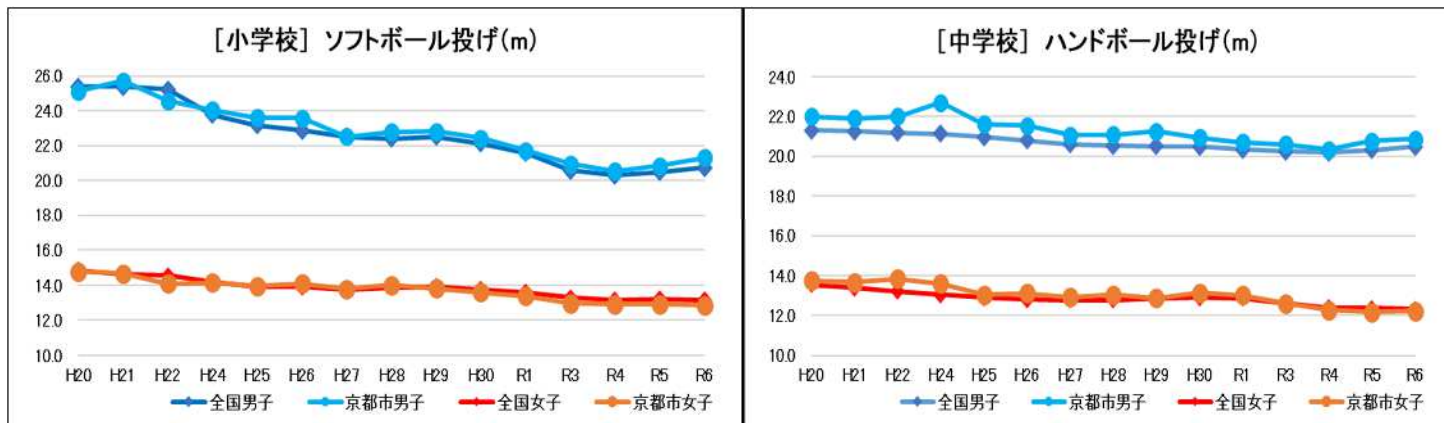
⑦ 立ち幅とび

- ・全国・京都市ともに、小学校は男女とも低下、中学校は男子で向上、女子が横ばいとなっている。
- ・中学校男子がコロナ以降も向上しており、全国・京都市ともに平成20年度以降最高値を記録。
- ・小学校では、全国・京都市ともに緩やかな低下傾向が続いており、京都市は全国平均を下回る傾向が続いている。



⑧ ソフトボール投げ／ハンドボール投げ

- ・全国・京都市ともに、小中学校男子で向上、小中学校女子で横ばいまたは少し低下している。
- ・京都市では、男子は小中学校ともに全国平均を少し上回っており、女子は全国平均と概ね同等の水準となっている。



2 運動習慣・生活習慣・運動意識の状況

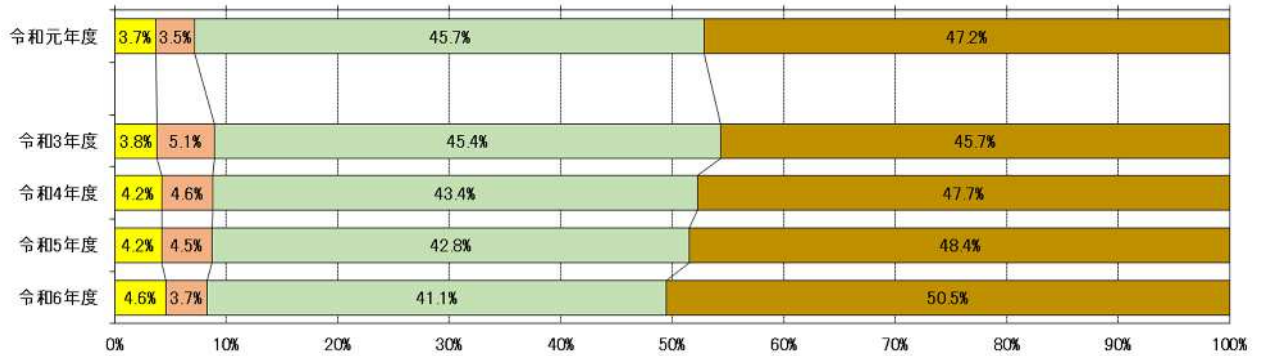
(1) 児童生徒の運動時間（体育の授業を除く。）

【小学校】

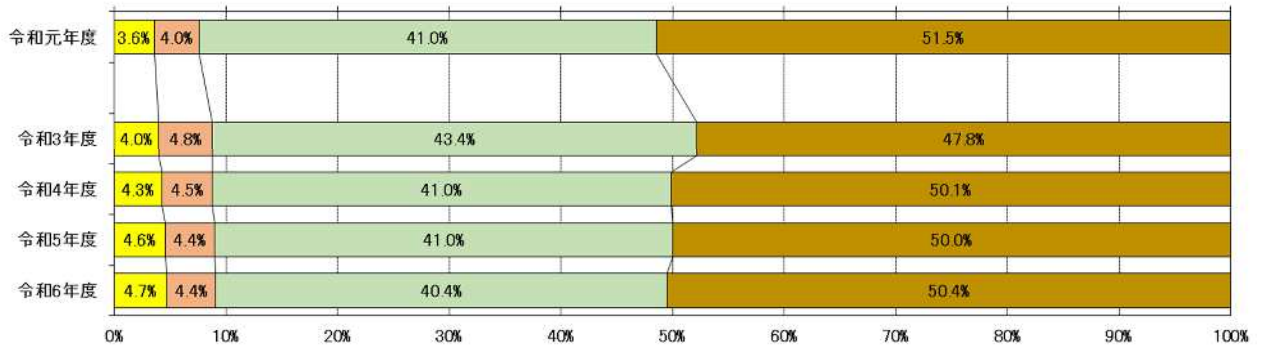
小学校では、全国・京都市ともに、1週間の総運動時間が「420分以上」の割合は男女ともに増加。総運動時間「60分未満」の割合は、全国ではほぼ横ばい、京都市ではやや低下傾向となっている。

京都市 小学校男子

※左から順に「0分」「1～59分」「60～419分」「420分～」



全国 小学校男子



京都市 小学校女子



全国 小学校女子



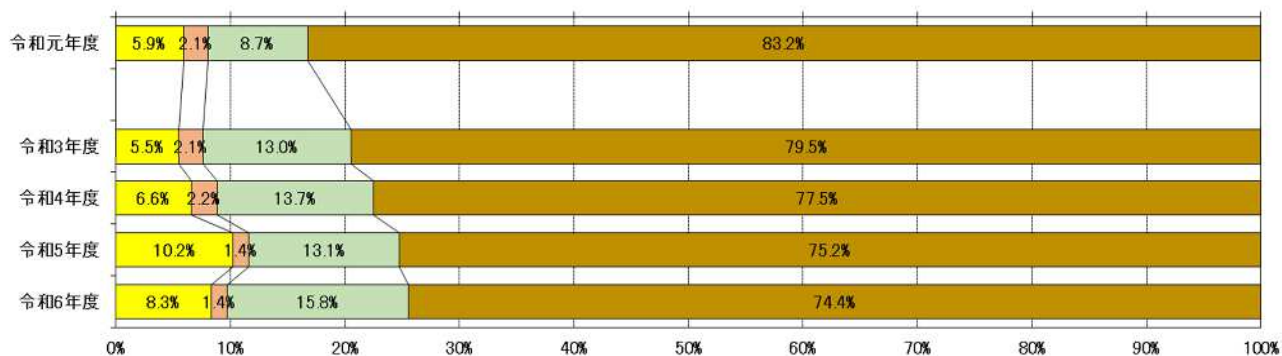
【中学校】

中学校では、1週間の総運動時間が「420分以上」の割合は、全国では男子が横ばい、女子は減少。京都市では、男女とも減少している。

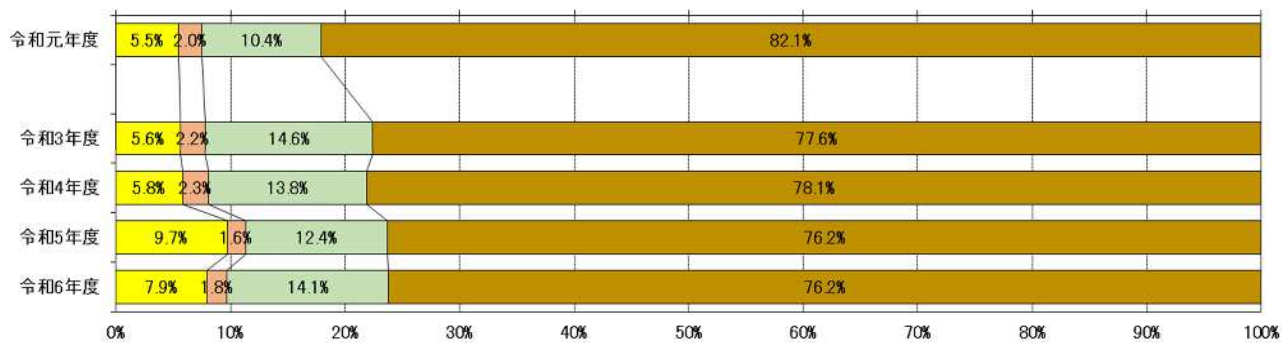
また、全国・京都市ともに、「60分未満」の割合が、令和5年度と比較すると減少したが、コロナ前と比較すると、依然高い割合となっている。

京都市 中学校男子

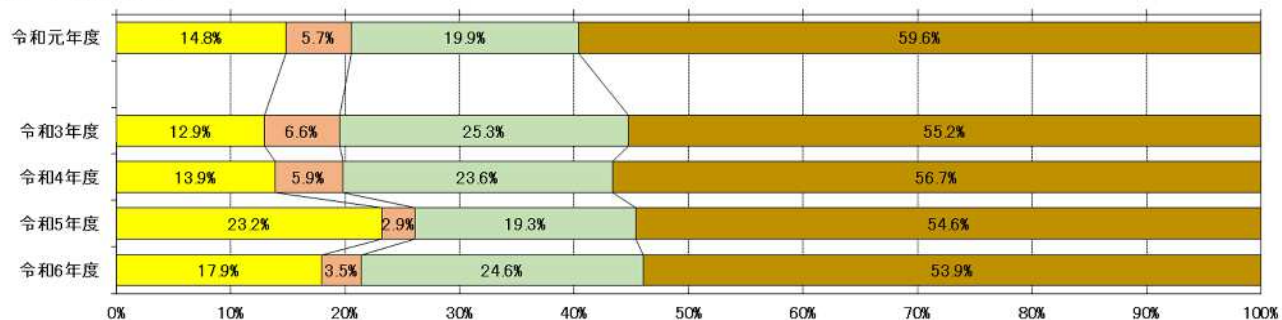
※左から順に「0分」「1～59分」「60～419分」「420分～」



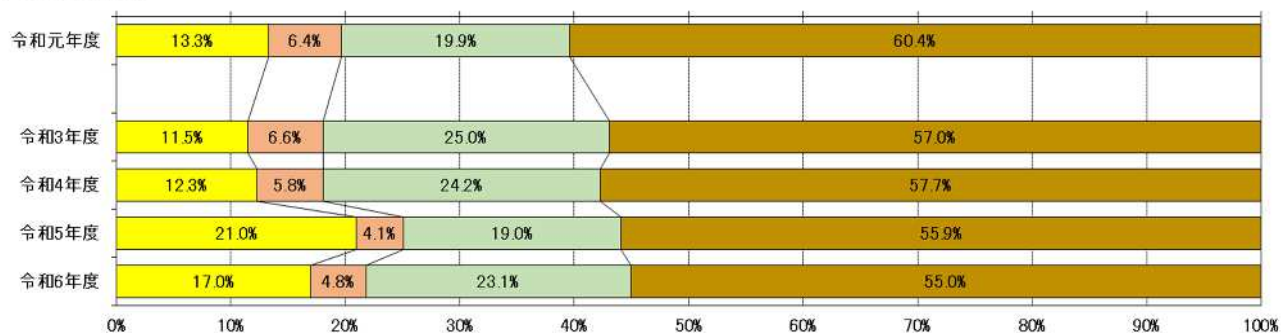
全国 中学校男子



京都市 中学校女子



全国 中学校女子



<参考>運動時間別の体力合計点

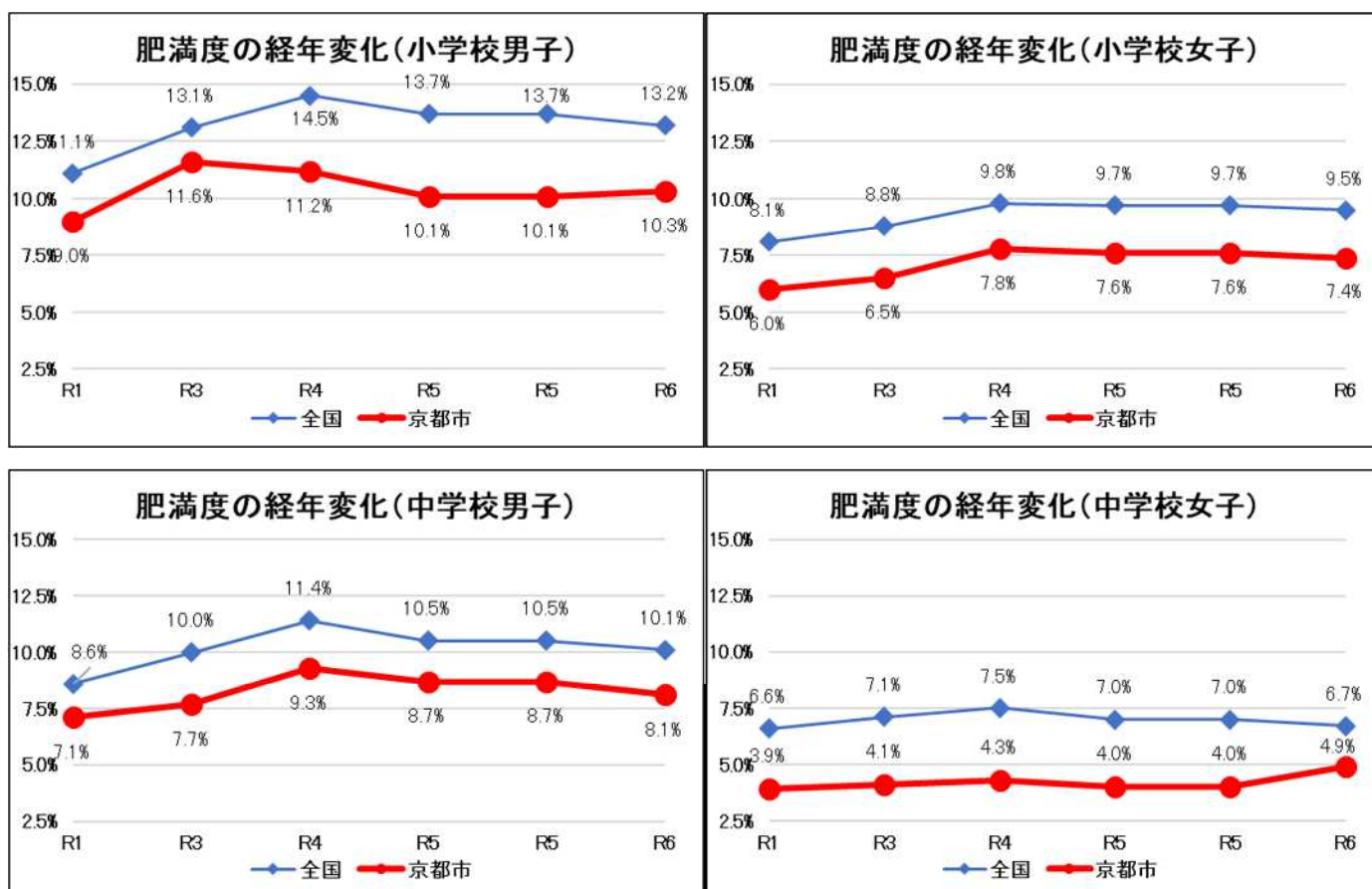
運動時間が長い児童生徒ほど、体力合計点が高くなる傾向にある。

	小学校		中学校	
	男子	女子	男子	女子
0～60分未満	43.2 点	48.3 点	32.2 点	39.0 点
60～420分未満	49.0 点	53.0 点	36.3 点	43.2 点
420 分以上	56.9 点	58.8 点	44.0 点	52.6 点
全国平均	52.5 点	53.9 点	41.7 点	47.2 点

(2) 児童生徒の体格の状況

全国では小・中学校の男女ともに、令和5年度に比べて肥満の割合が減少した。

京都市では、小学校女子と中学校男子で減少、小学校男子と中学校女子で増加した。なお、全国平均と比較すると、小・中学校男女とも肥満の割合は低い傾向。



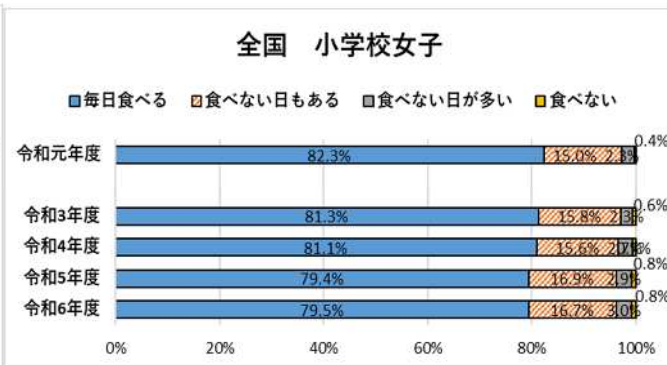
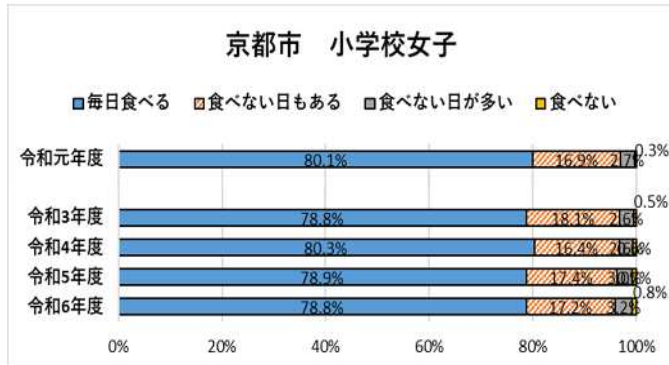
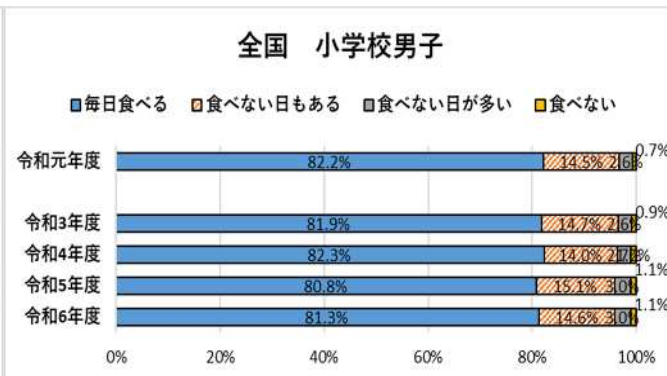
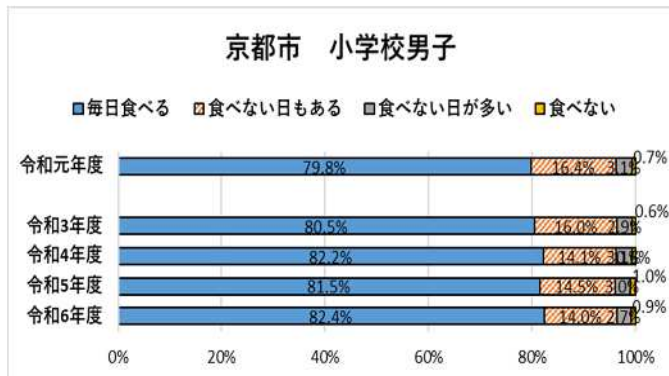
(3) 朝食、睡眠、学習以外のスクリーンタイムの状況

① 朝 食

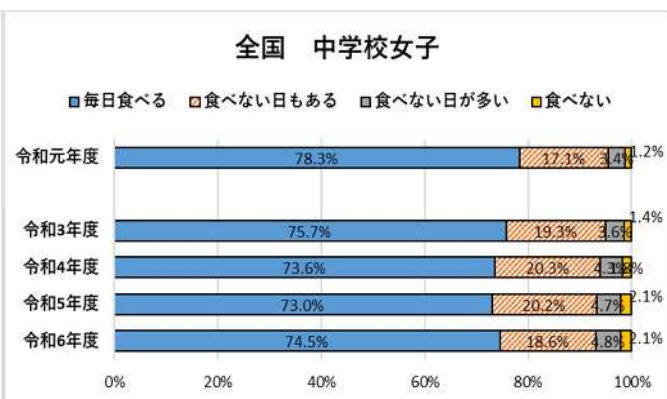
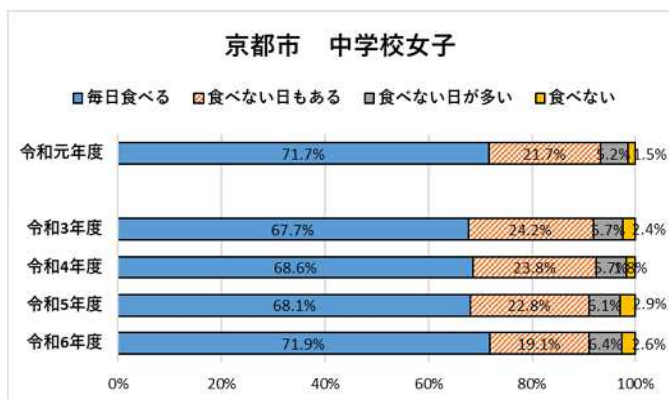
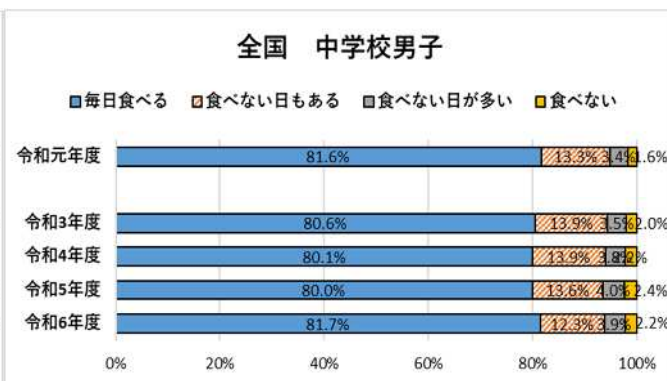
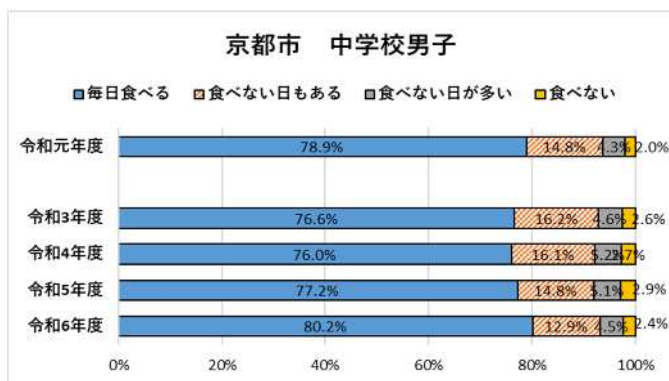
全国では、小・中学校男女とも、朝食を「毎日食べる」児童生徒が増加。

京都市では、小学校女子以外は「毎日食べる」生徒が増加しており、小学校女子もほぼ横ばいであり、全国と概ね同様の傾向となっている。また、全国平均と比較すると、「毎日食べる」児童生徒の割合は、小学校男子を除いて少し低い状況である。

【小学校】



【中学校】

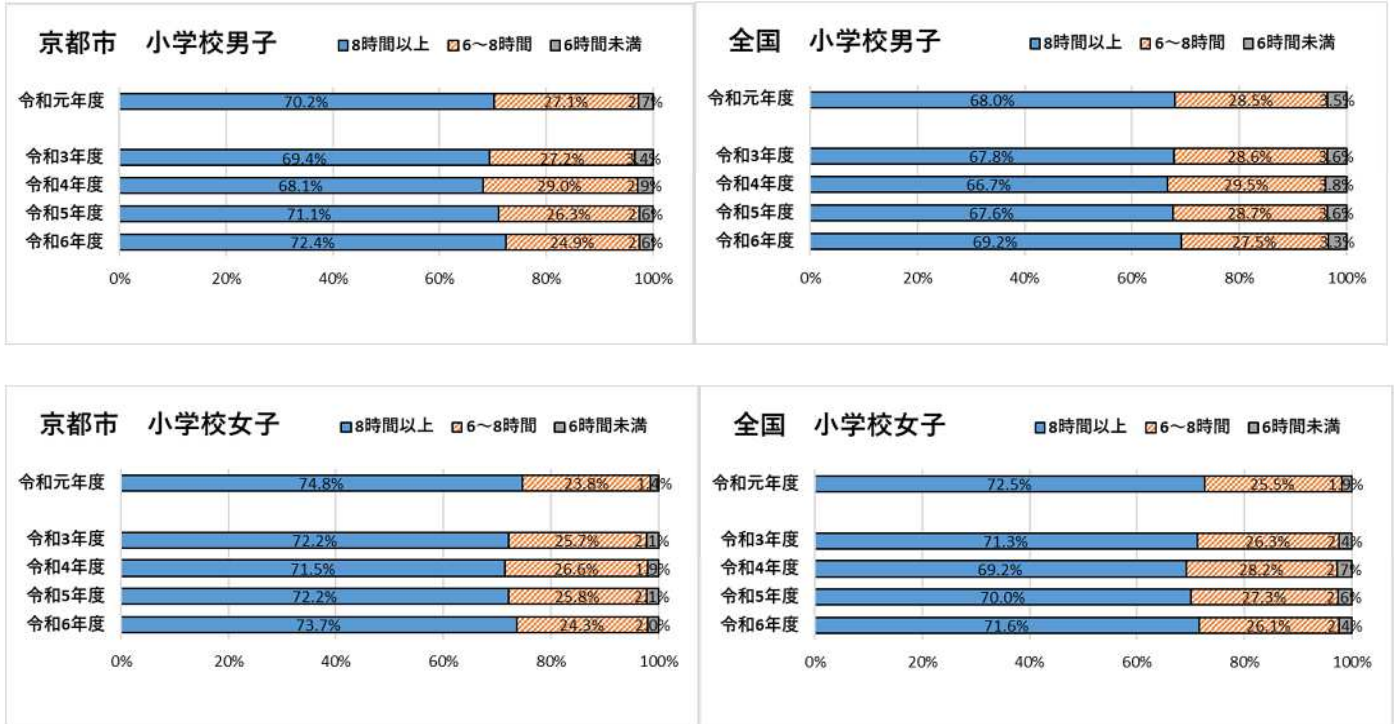


② 睡眠

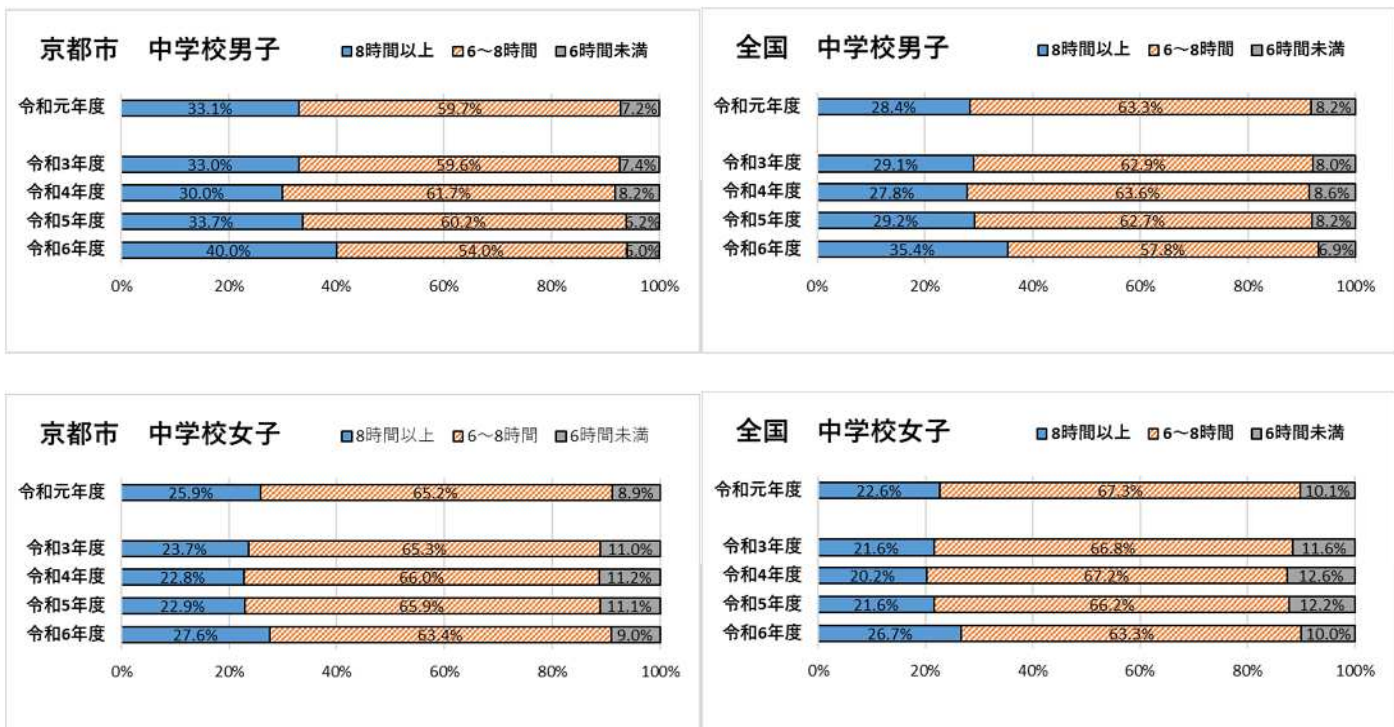
全国・京都市ともに、令和5年度と比較して、睡眠時間が「8時間以上」の割合は、小・中学校男女とも増加し、特に中学校で顕著な増加が見られる。

京都市では、「8時間以上」の割合が全国平均と比較して高い傾向。

【小学校】



【中学校】



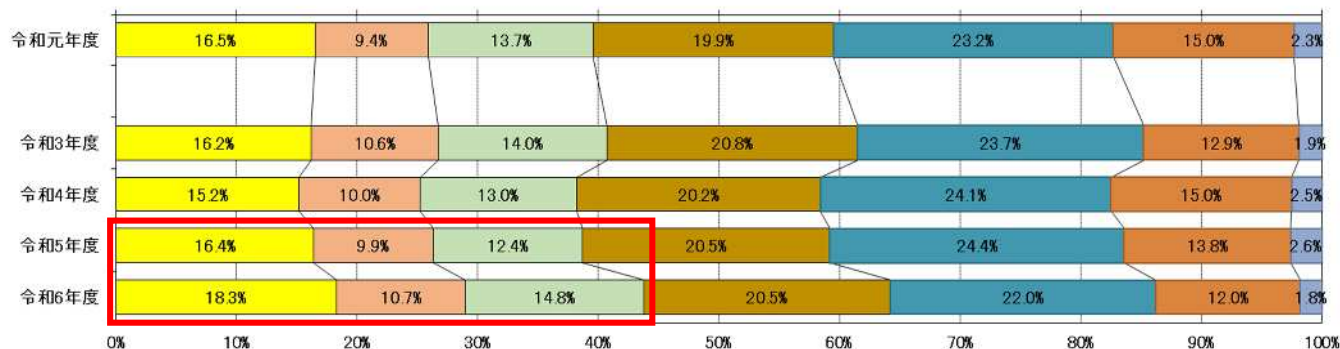
③ スクリーンタイム ※平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

【小学校】

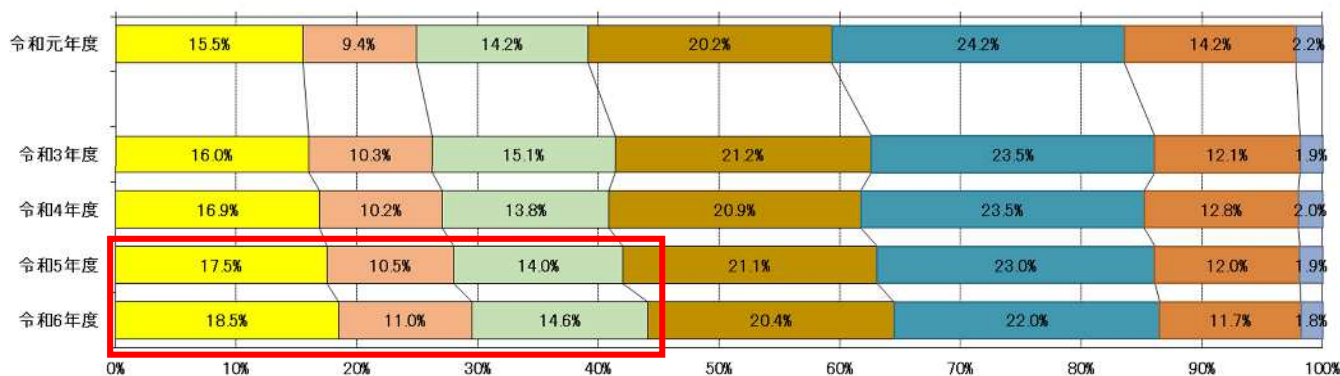
学習以外のスクリーンタイム「3時間以上」の割合は、全国・京都市ともに小学校男女で増加している。

- 1.5時間以上
- 2.4時間以上5時間未満
- 3.3時間以上4時間未満
- 4.2時間以上3時間未満
- 5.1時間以上2時間未満
- 6.1時間未満
- 7.まったく見ない

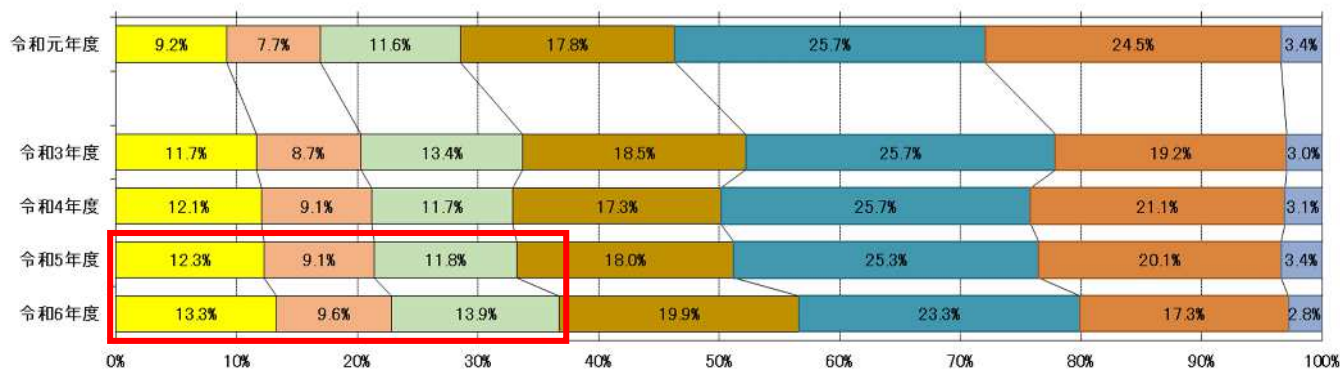
京都市 小学校男子



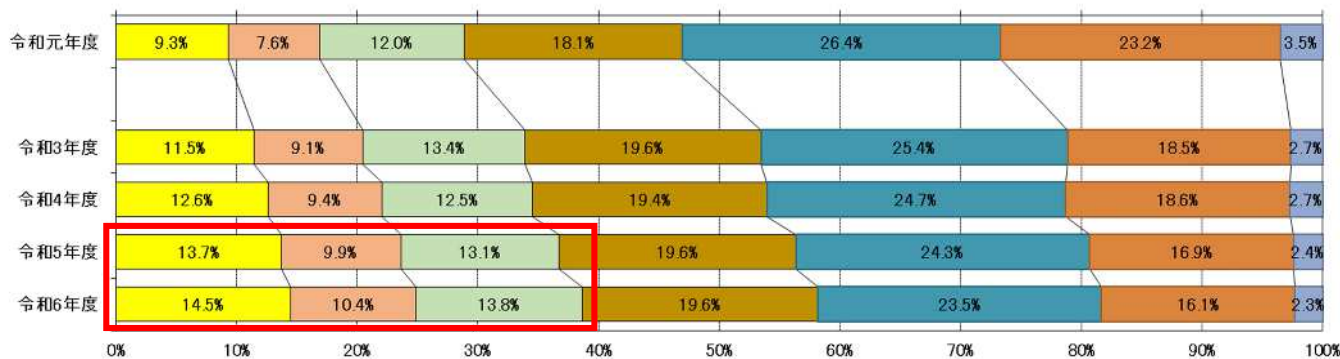
全国 小学校男子



京都市 小学校女子



全国 小学校女子



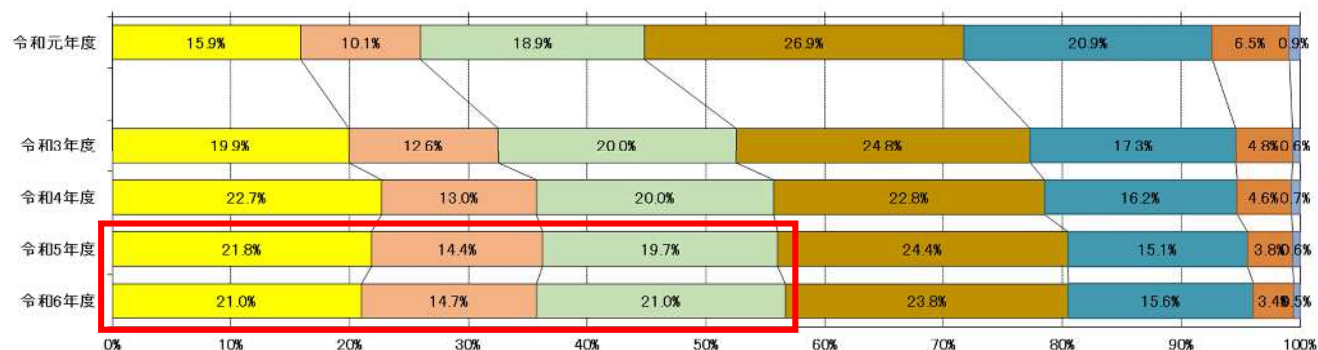
【中学校】

学習以外のスクリーンタイム「3時間以上」の割合は、全国・京都市ともに中学校男女で増加している。

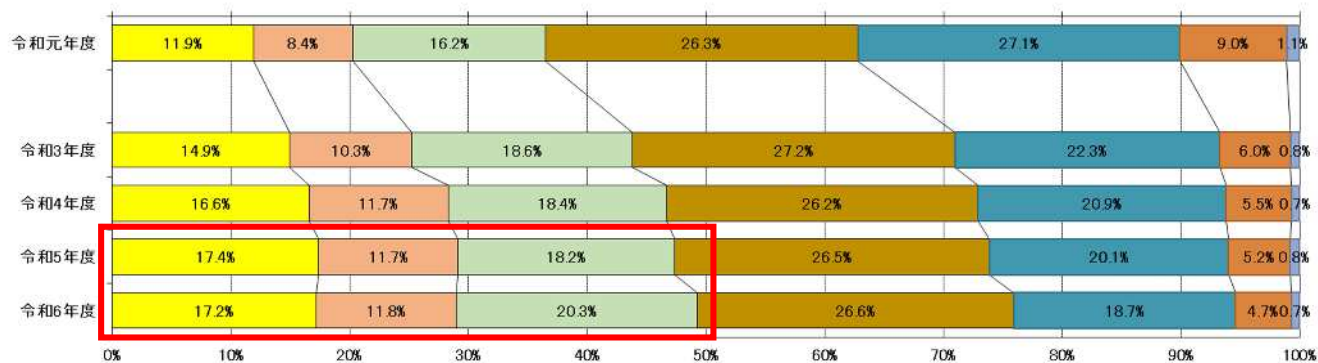
京都市では、全国平均と比較すると「3時間以上」の割合が高く、男女とも半数を超えている。

- 1.5時間以上
- 2.4時間以上5時間未満
- 3.3時間以上4時間未満
- 4.2時間以上3時間未満
- 5.1時間以上2時間未満
- 6.1時間未満
- 7.まったく見ない

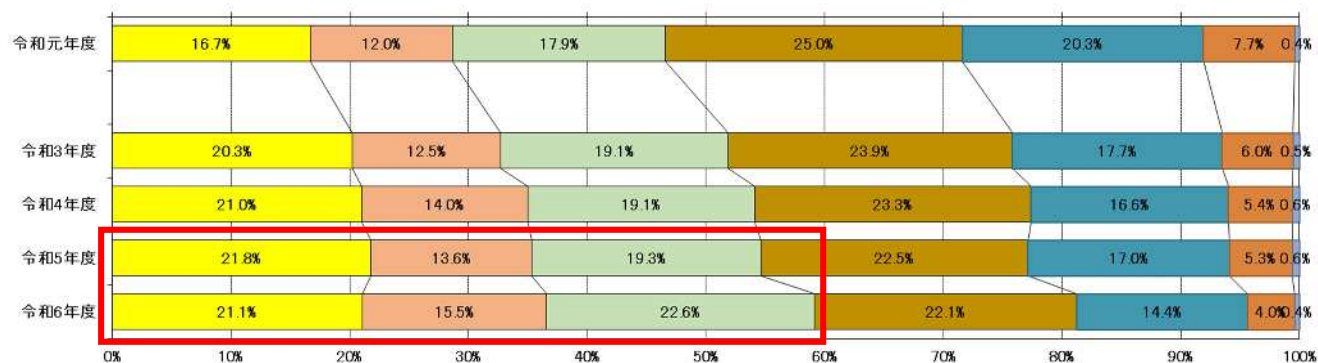
京都市 中学校男子



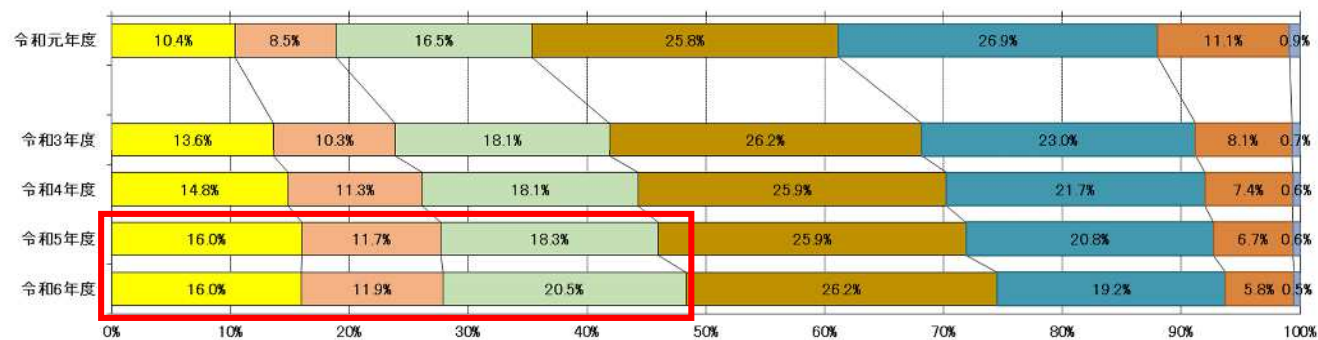
全国 中学校男子



京都市 中学校女子



全国 中学校女子



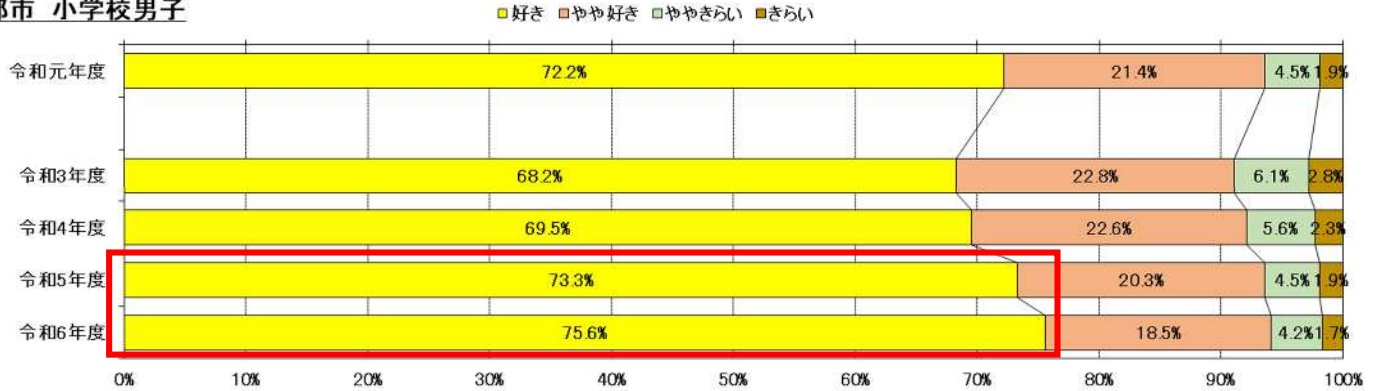
(4) 運動やスポーツに対する意識

① 運動やスポーツをすることが好き

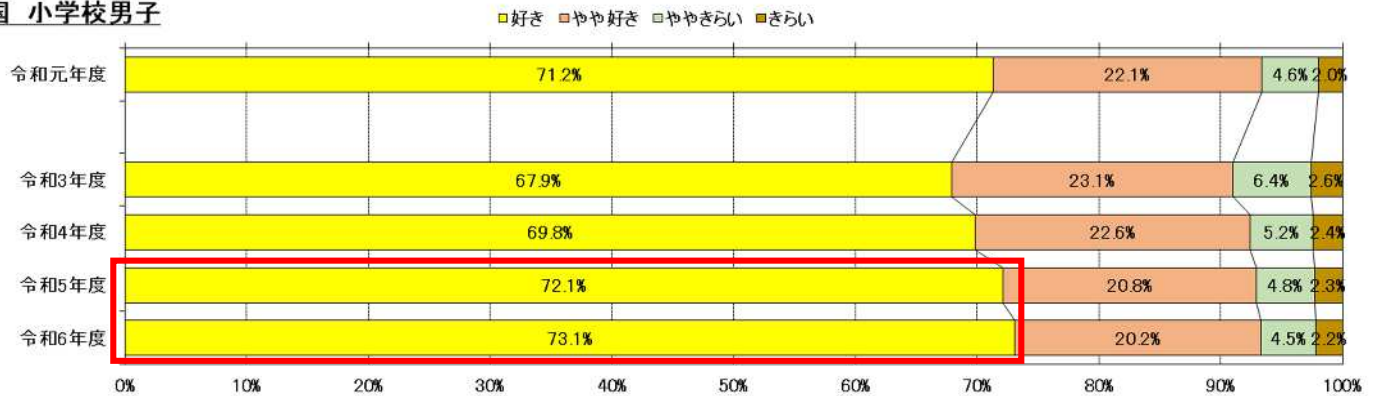
【小学校】

全国では「運動が好き」と答えた児童は令和5年度との比較で男女とも増加した。
京都市では、「運動が好き」と答えた児童は男子で増加したが、女子は少し減少した。

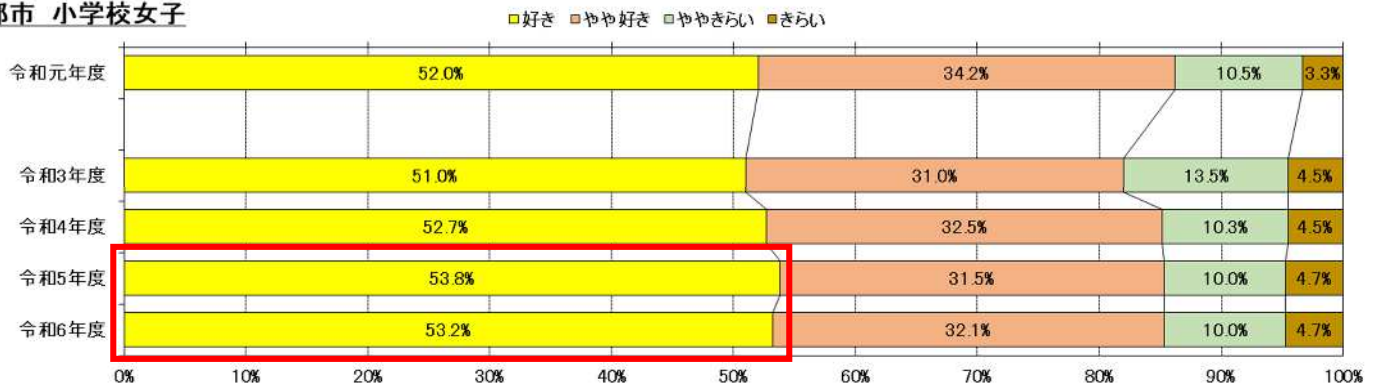
京都市 小学校男子



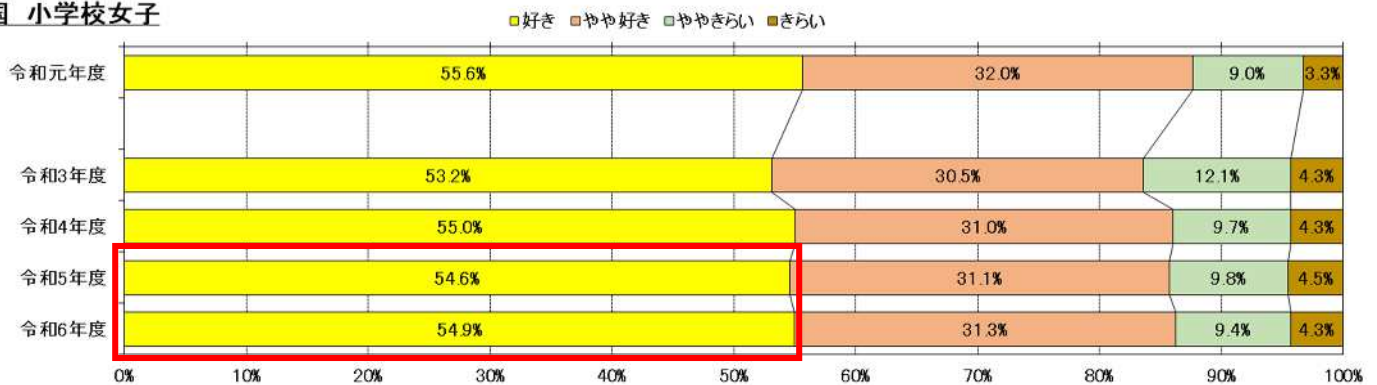
全国 小学校男子



京都市 小学校女子



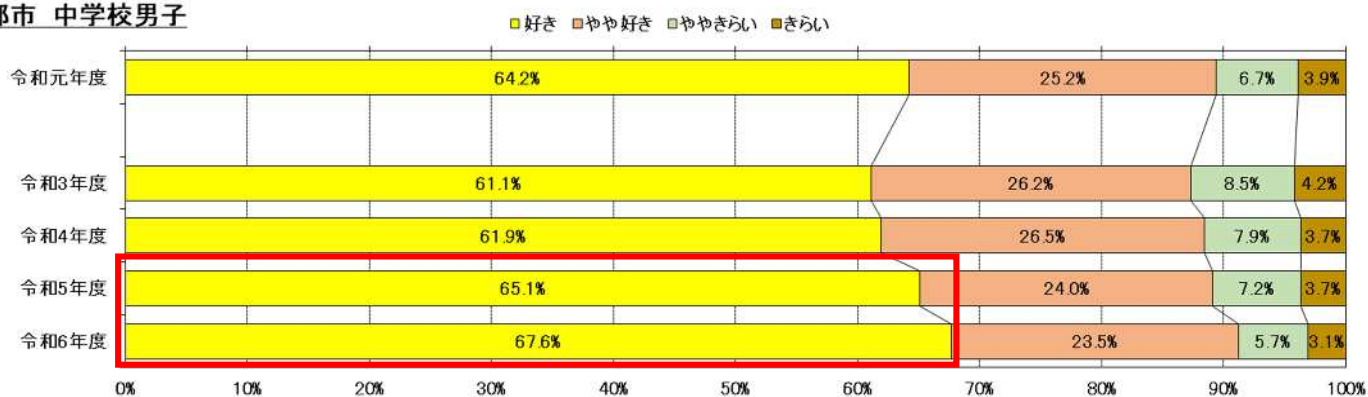
全国 小学校女子



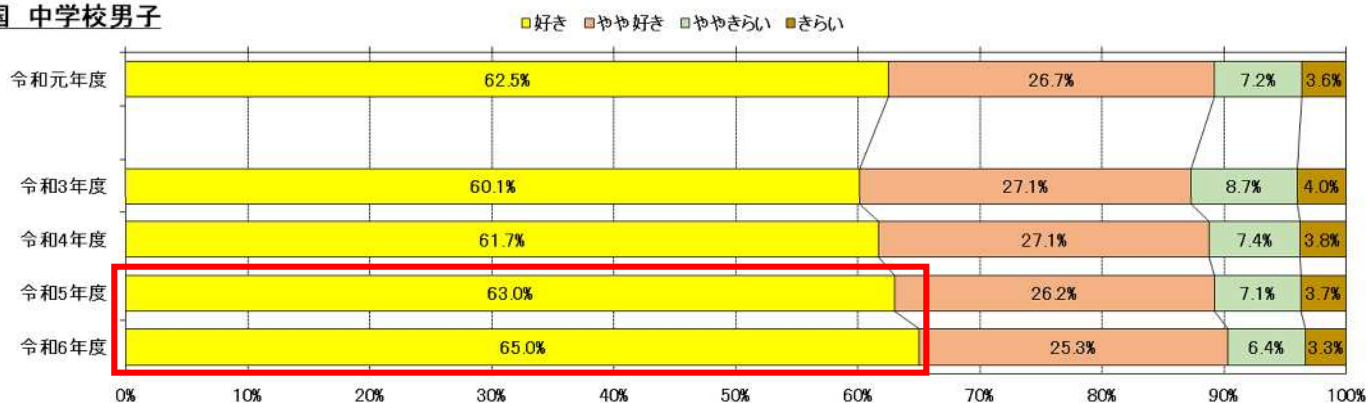
【中学校】

全国・京都市ともに、「運動が好き」と答えた生徒は令和5年度との比較で男女とも増加し、特に男子では増加が顕著でコロナ前の水準を超えている。

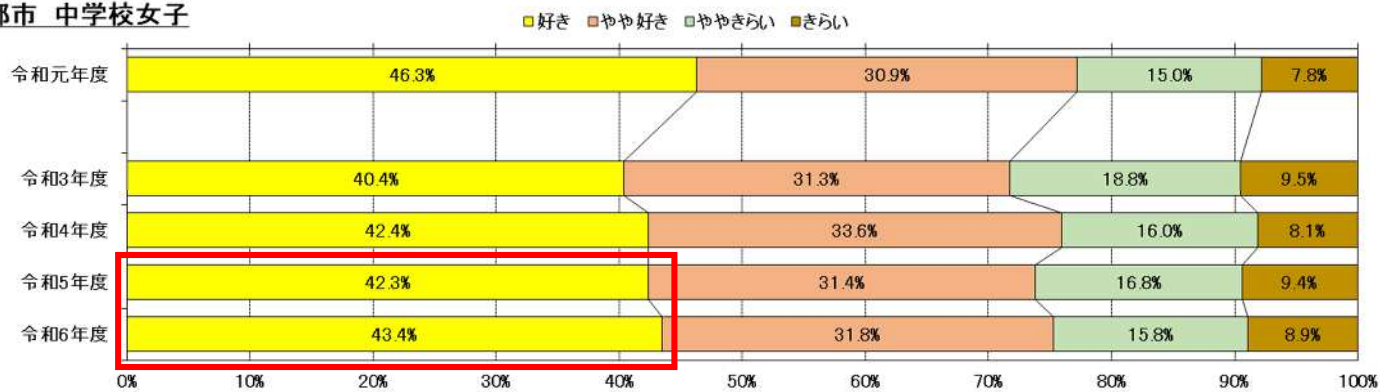
京都市 中学校男子



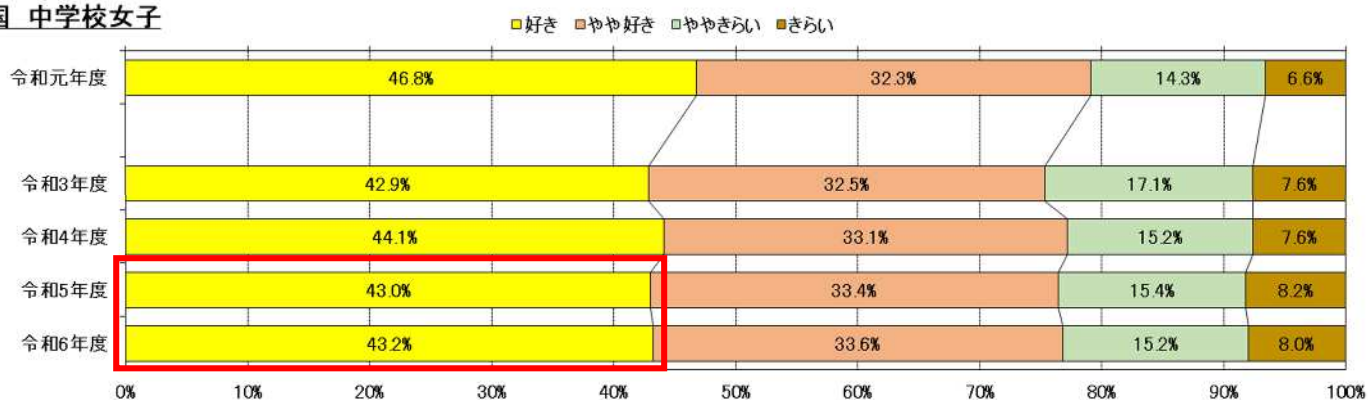
全国 中学校男子



京都市 中学校女子



全国 中学校女子

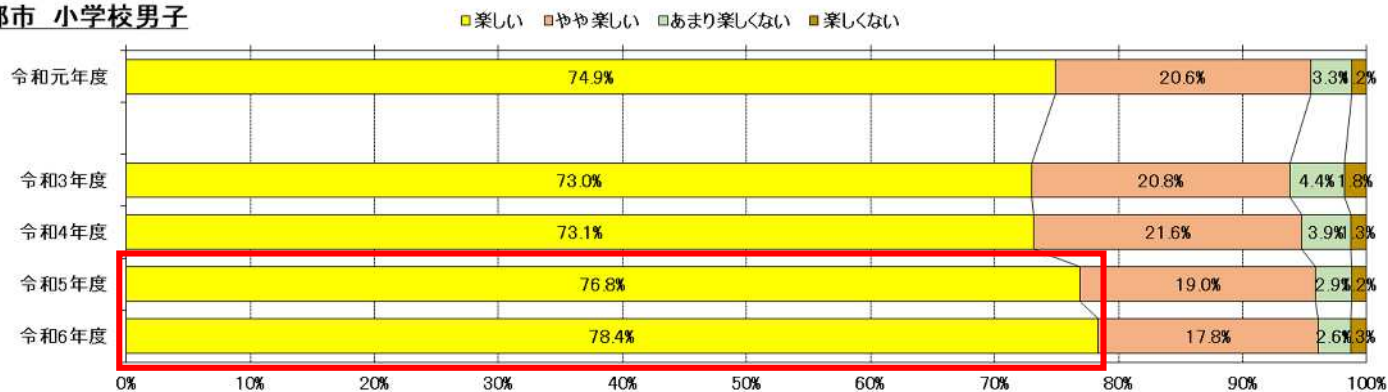


② 体育・保健体育の授業は楽しい

【小学校】

全国・京都市ともに、「体育が楽しい」と答えた児童は、男女とも増加。京都市では、特に男子で「体育が楽しい」と答えた児童の割合が全国平均に比較して高い。

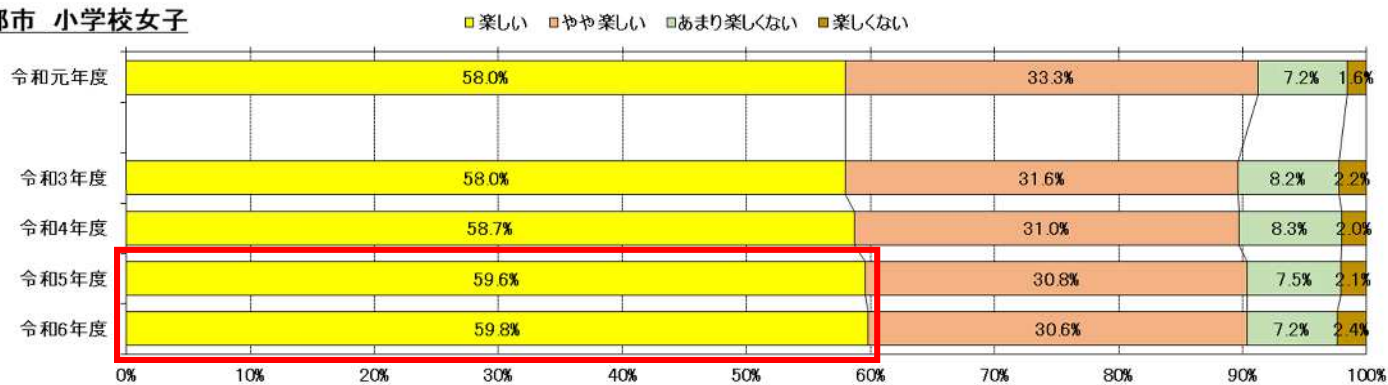
京都市 小学校男子



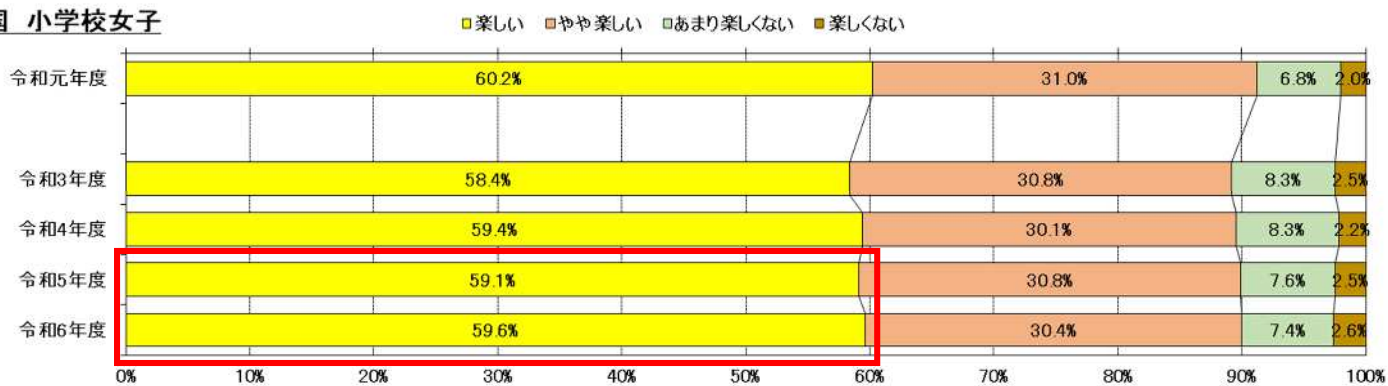
全国 小学校男子



京都市 小学校女子



全国 小学校女子

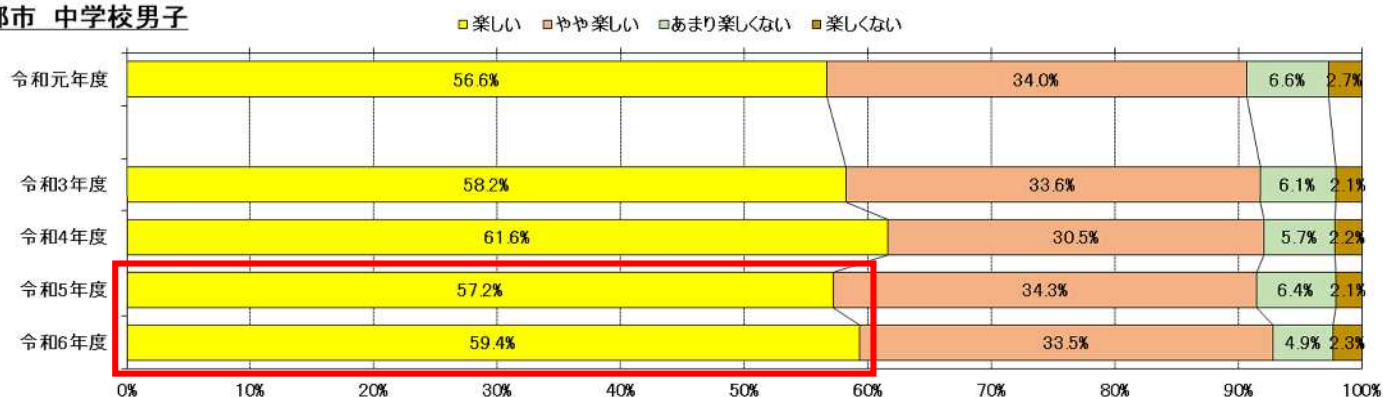


【中学校】

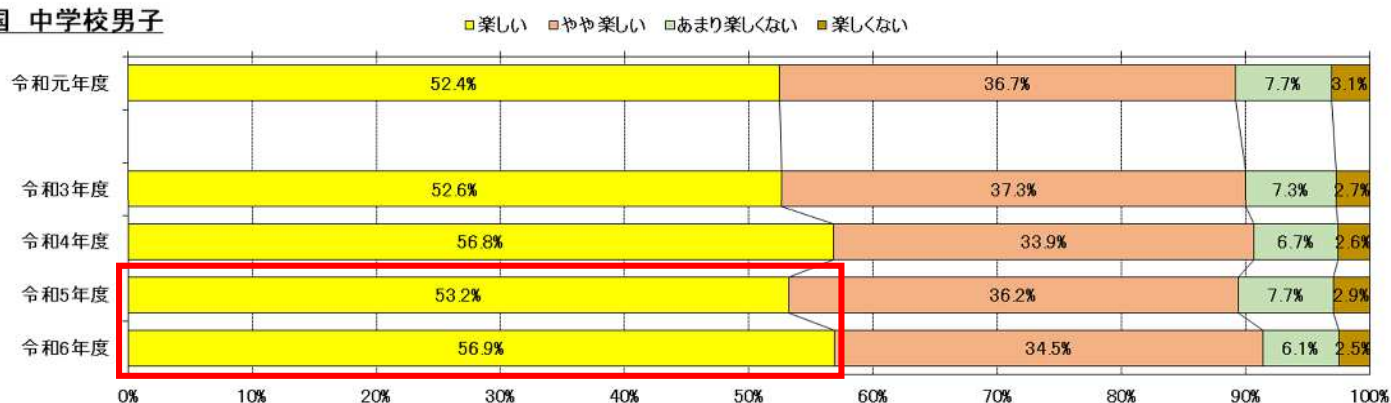
全国では、「保健体育が楽しい」と答えた生徒は、男女ともに令和5年度より増加。

京都市では、令和5年度と比較すると、男子で増加、女子は微減。全国平均と比較して、男女ともに「保健体育が楽しい」と答えた生徒の割合は高い。

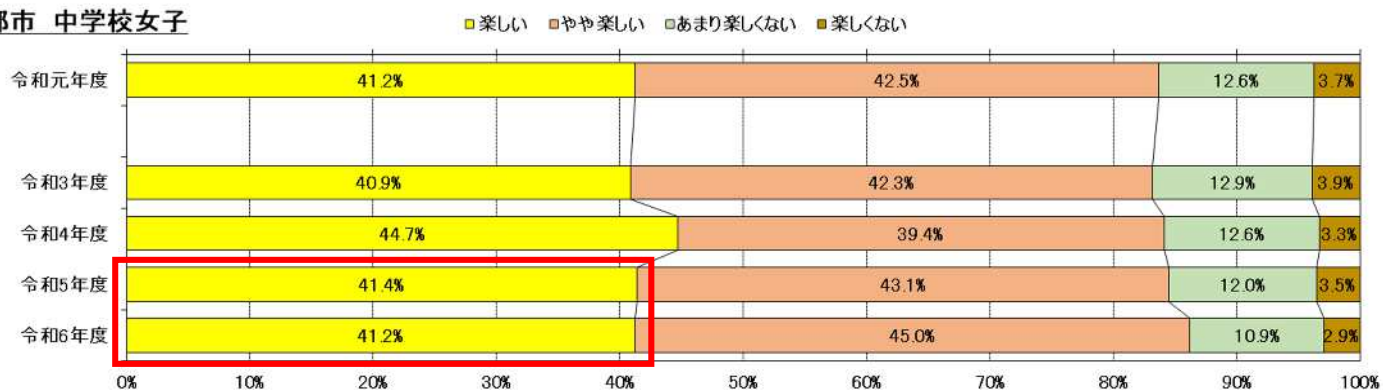
京都市 中学校男子



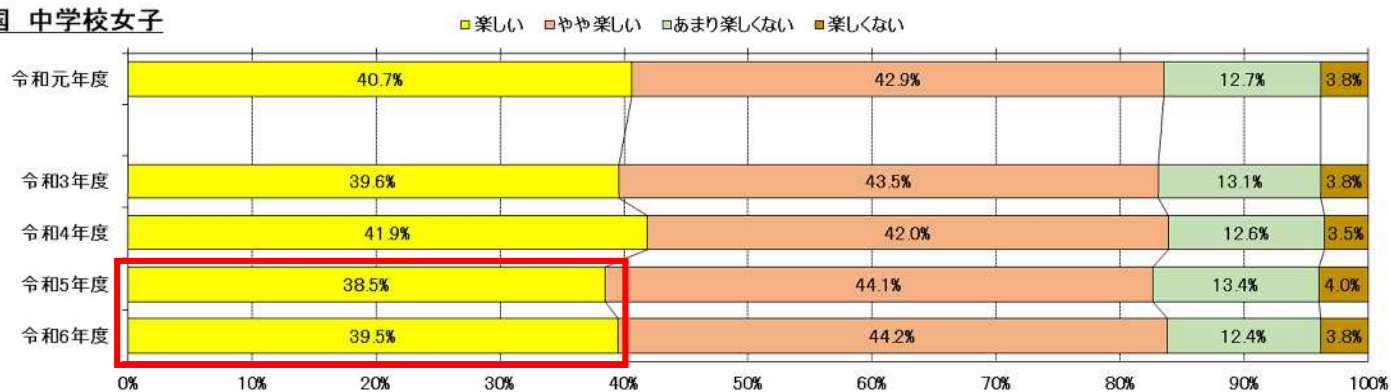
全国 中学校男子



京都市 中学校女子



全国 中学校女子

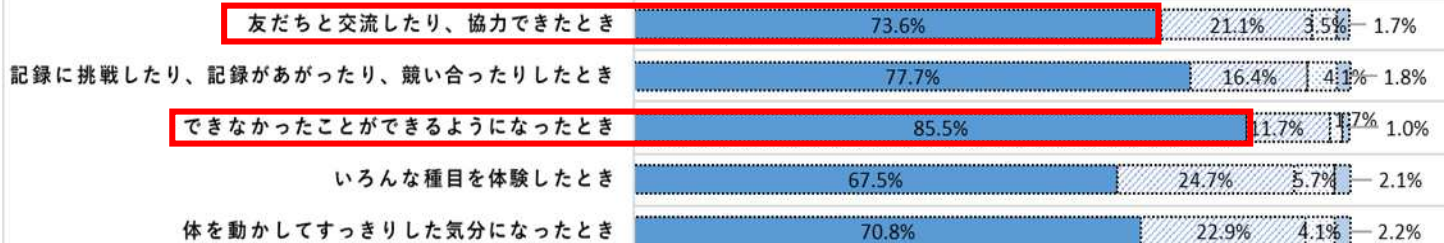


③ 体育・保健体育の授業が楽しいと感じるとき

全国では、児童生徒が「体育・保健体育の授業を楽しいと感じるとき」として、「できなかったことができるようになったとき」、「友達と交流したり、協力できたとき」と回答する割合が多い傾向であり、京都市においても同様の傾向がみられる。

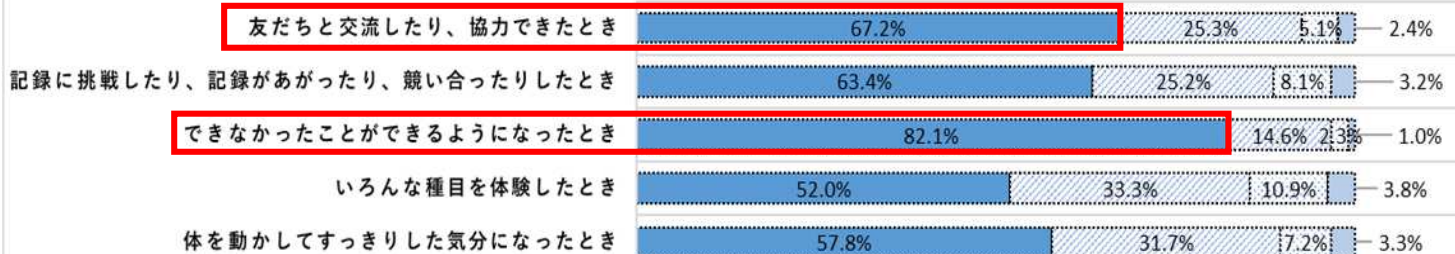
京都市 小学校男子

■楽しい ■やや楽しい ■あまり楽しくない ■楽しくない



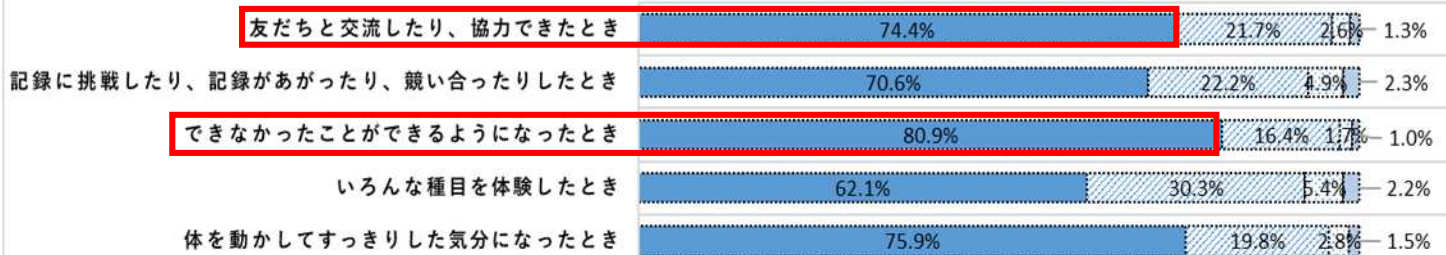
京都市 小学校女子

■楽しい ■やや楽しい ■あまり楽しくない ■楽しくない



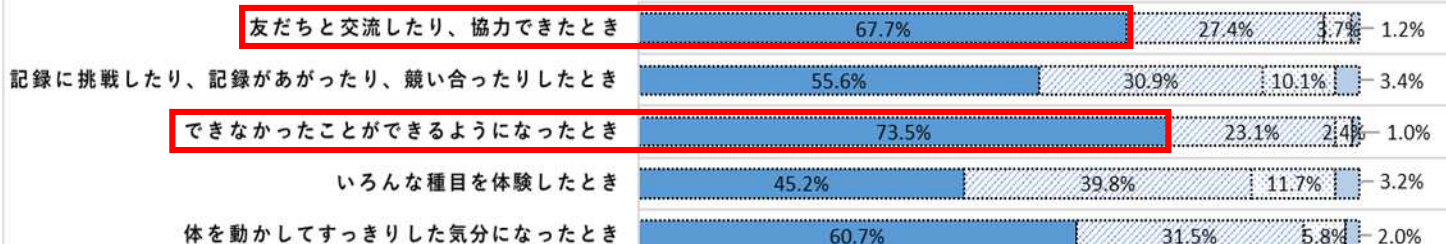
京都市 中学校男子

■楽しい ■やや楽しい ■あまり楽しくない ■楽しくない



京都市 中学校女子

■楽しい ■やや楽しい ■あまり楽しくない ■楽しくない



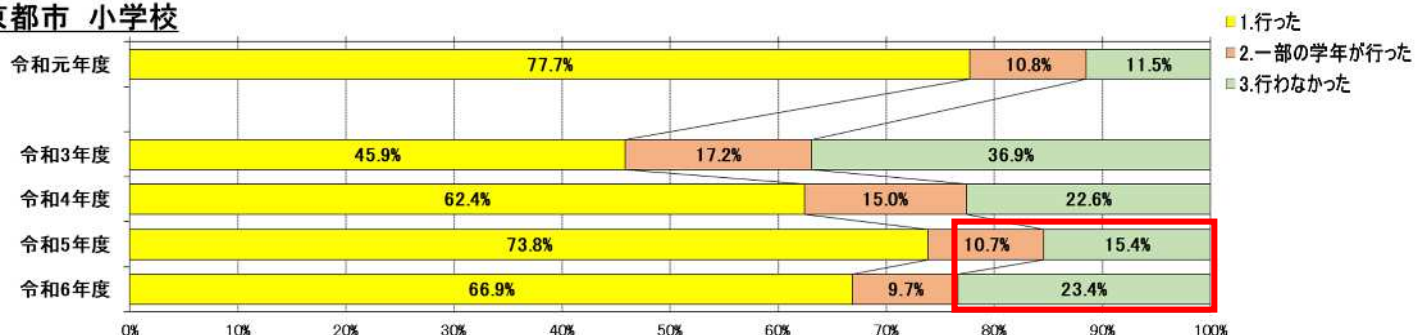
3 学校による体力向上の取組状況

① 体育の授業以外での体力向上の取組

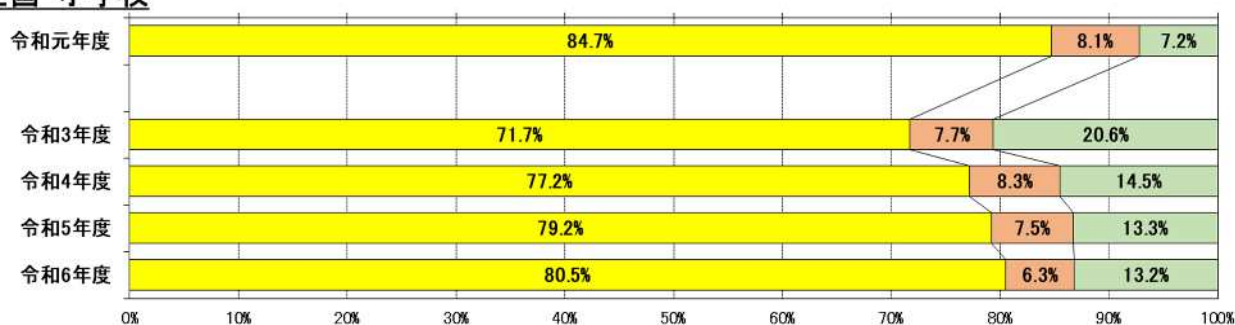
全国では、前年度(令和5年度)の活動として体育の授業以外で体力向上の取組を行った学校は、小学校で増加したが、中学校では減少している。

京都市では、小・中ともに「行わなかった」と回答している学校が大きく増加している。

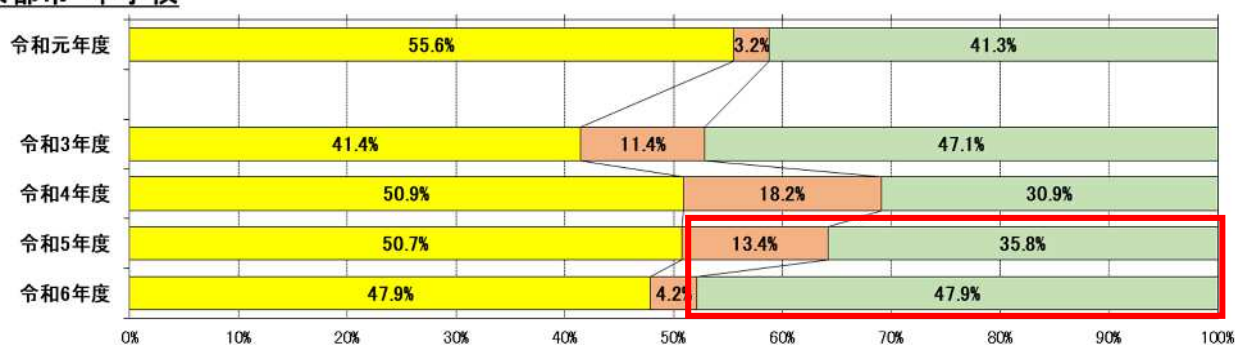
京都市 小学校



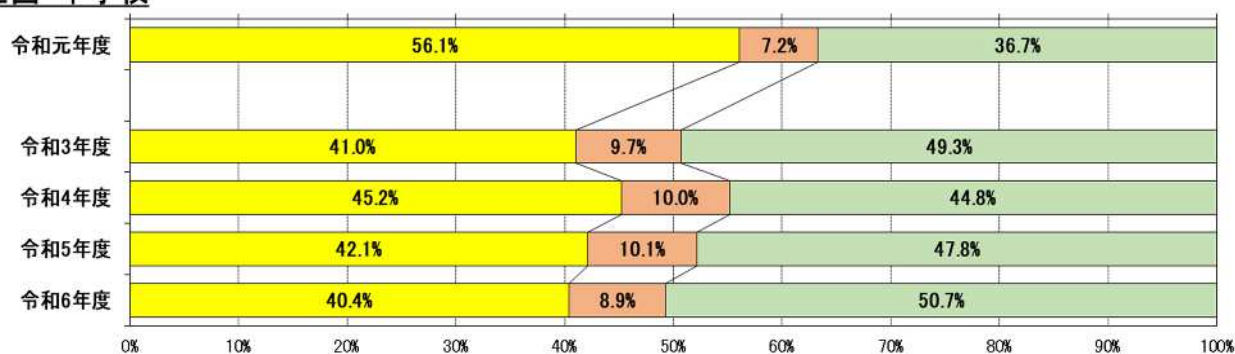
全国 小学校



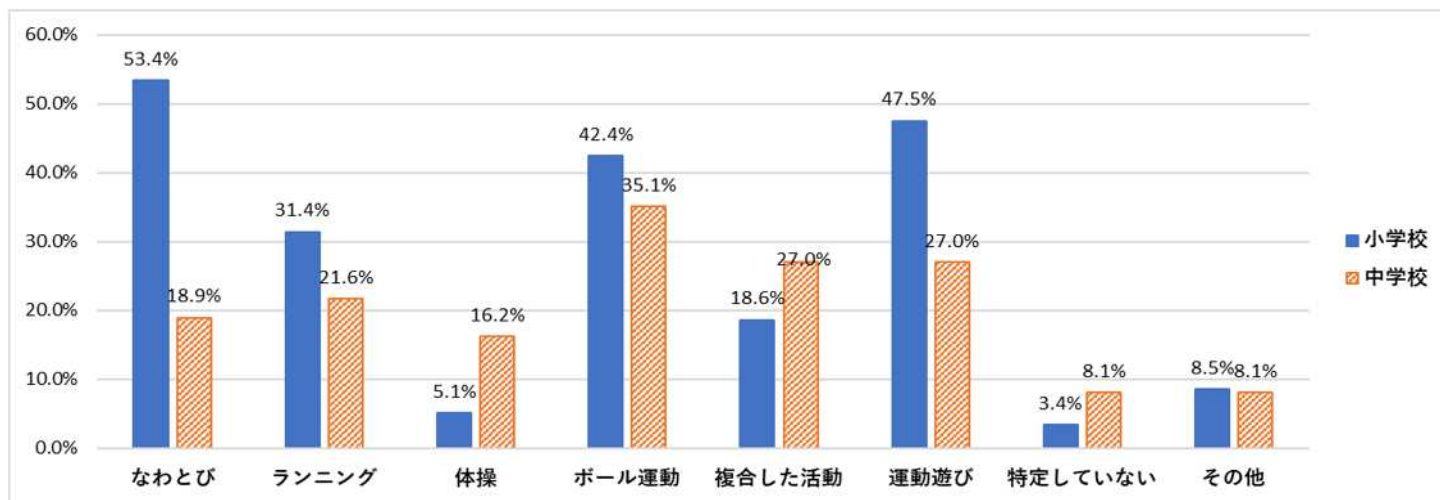
京都市 中学校



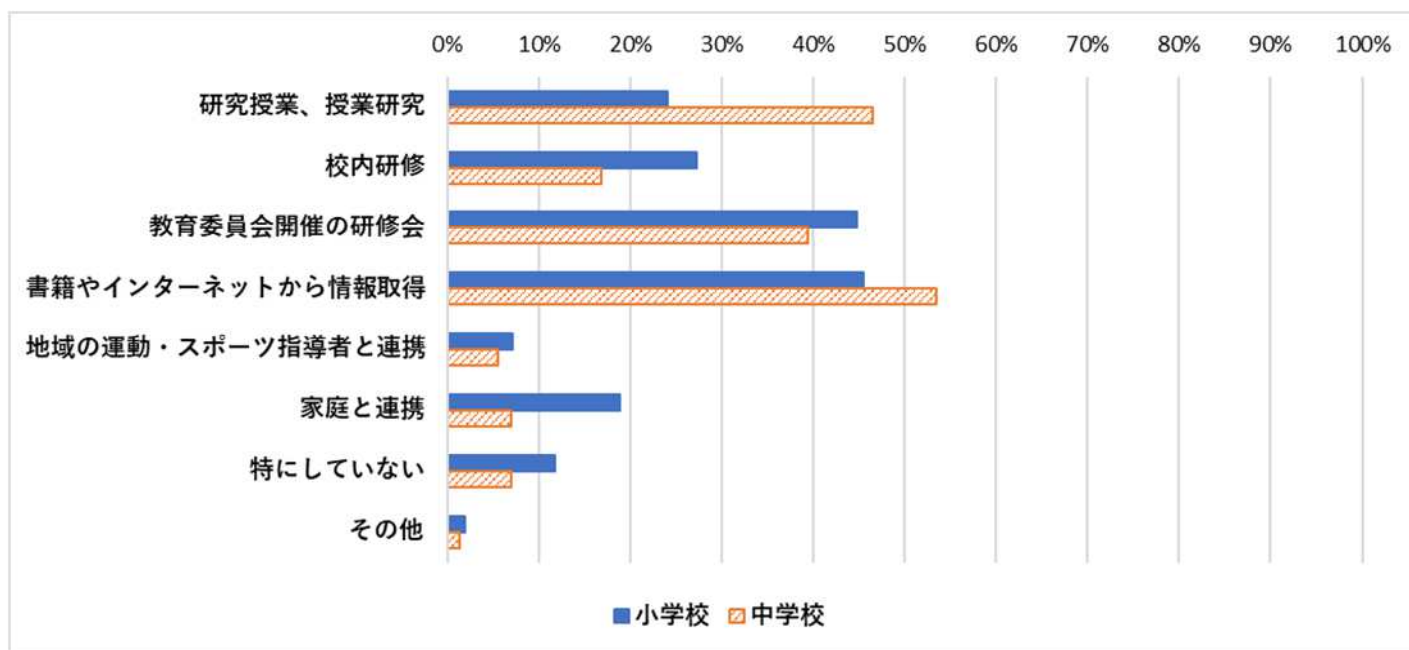
全国 中学校



<参考 1> 「どのような活動を行いましたか（複数回答可）」に対する回答（京都市）

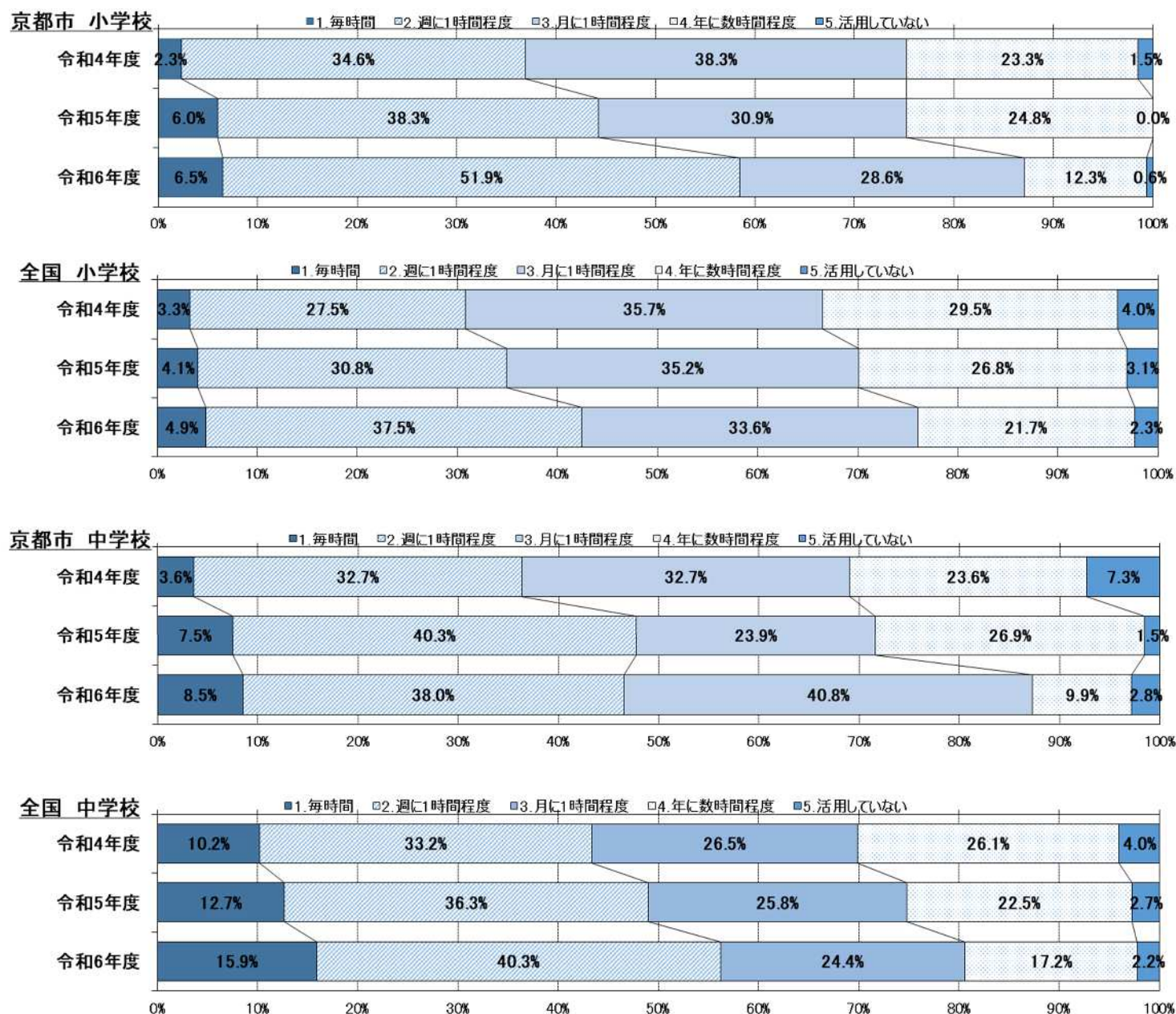


<参考 2> 「体育・保健体育の授業で運動やスポーツが苦手（嫌い）な傾向がある児童生徒への指導の充実のためにどのような取組をしているか」に対する回答（京都市）



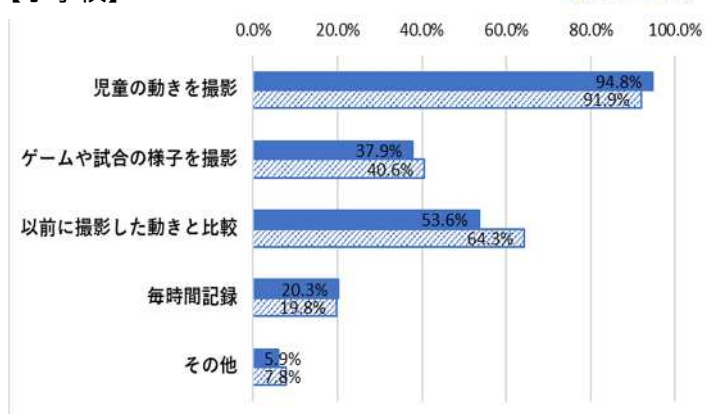
② 体育・保健体育の授業における ICT の活用頻度

体育・保健体育の授業において ICT を活用する学校は全国・京都市ともに増加傾向にあり、京都市では、小学校で、全国平均と比較して ICT を活用している割合がかなり高い。



<参考> ICT の活用方法

【小学校】



【中学校】

